

HD-SDI Digital Video Recorder

取扱説明書



HD-SDI
HDC400M

この製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品を快適にご使用頂くために、この取扱説明書を注意してお読みください。
また、後日もお使い頂けますように、本書を大切に保管してください。

著作権 / 認証 / 商標 / 限定保証

著作権

このマニュアルは著作権法により、事前の許可なしでいずれのコンテンツも転載や複写は認められておりません。

認証

CE、FCC、KCC、RoHS

商標

イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
マイクロソフト、MS-DOS、Windows、Internet Explorer、および Windows NT は
米国および他の国におけるマイクロソフト社の登録商標です。

限定保証

製造業者、輸入業者、および販売店は、偶発的な損害（損傷・負傷を含む）また不適切な使用や操作によって起こされた損害に、一切の責任を負いません。

警告

製品を適切に操作して頂くために、製品を操作する前にすべての安全上の警告事項をよくお読み
いただき、ご理解のうえ、正しくお使いください。

警告は Danger、Warning、Caution および Important に分類されます。

 Danger	死亡または大怪我（重傷）の危険性あり。 最大の危険警告です。
 Warning	損傷の危険性あり。 製品やその周囲の財産への物的損害をもたらす危険性あり。
 Caution	軽傷または損害の危険性あり。 操作に関する要件または制限。
 Important	お客様が怪我なく適切に製品を操作できますように関連詳細を 注意してお読みください。

上記の警告は、システムの不適切な使用のために起こるかもしれない損害の程度を示します。

 <p>Danger</p>	<p>死亡または大怪我（重傷）の危険性あり。 最大の危険警告です。</p>
---	---

- 電池を交換する際に誤った種類のものとは交換しますと、爆発する可能性があります。また、使用済みの電池は正しい方法に従って処分してください。
- この製品は室内で使用するために作られています。
- 取扱説明書または製品仕様書の中で示されている電源電圧でご使用ください。また、付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。
- 感電の恐れがありますので、火や水の近くまたは湿気の多いところでは製品を使用しないでください。
- 電源ケーブルコードの上に重いものを置かないでください。電源ケーブルコードが損傷し発火や感電の原因となります。
- 製品の上に液体の入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、内部に入ると発火や感電、故障を引き起こす原因となります。
- 電源ケーブルコードを切りつける、曲げる、ねじる、引っ張る、または加熱するなどの行為はしないでください。電源ケーブルコードの損傷は発火と感電につながります。
- 製品の天板を取り除かないでください。感電する恐れがあります。内部検査やメンテナンスが必要な場合は、ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- 分解や改造など、製品内部に手を加えないでください。発火や感電の原因となります。
- 異臭・発煙・異常音を感じた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに使い続けると、発火や感電する恐れがあります。ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- 製品を落下させたり、破損させた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに使い続けると、発火や感電する恐れがあります。ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- ぬれた手で製品に触れないでください。感電する恐れがあります。

 <p>Warning</p>	<p>損傷の危険性あり。 製品やその周囲の財産への物的損害をもたらす危険性あり。</p>
--	--

- 電源ケーブルやコードなどは、足でひっかけるといった場所に配線しないでください。つまづいて怪我をすることがあります。
- 水・飲料または液体との接触を避けてください。修理不可能な損傷をもたらす原因となります。
- 雷の時には、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。製品の破損の原因になります。
- 電源が入った状態で外部装置を接続しないでください。製品またはカメラからの過度な電流により感電の恐れがあります。

 Caution	軽傷または損害の危険性あり。 操作に関する要件または制限。
--	----------------------------------

- 異物が製品についてしまった場合、やわらかい布切れを使用して取り除いてください。異物を取り除くために化学薬品（シンナー、溶媒など）を使わないでください。
- 以下の場所に製品を設置したり、操作を行わないでください。
 - 極端に高温/低温、温度差が激しい場所
 - 湿度の高い場所またはエアコン付近、温度変化の激しい場所
 - ほこりの多い場所
 - 製品の上面や側面にある換気孔から放熱することができない場所
- クレジットカード/テレホンカード/銀行預金口座通帳/チケットなどの磁気特性のあるものを製品のそばに置かないでください。
- 静電気は製品の内部部品に損害をもたらす恐れがあります。リヤパネルと製品内部に触れる前に、身体から静電気を取り除いてください。
- この製品を処分する際は、各地域の産廃物処分の規則にしたがって正しく処理してください。

 Important	お客様が怪我なく適切に製品を操作できますように関連詳細を注意してお読みください。
---	--

- 電源が不安定な状態や感電が起こる状態では、製品は正常に作動しません。適切な定格出力であることをご確認ください。
- 製品は停電の際に設定を保持するように設計されていますが、停電による電源電圧変化などにより、製品データの破損などの損害を受ける可能性があります。データ保護や録画を正常に継続するには無停電電源装置（UPS）をご利用ください。
- 製品は、ビデオデータをハードディスクに録画できるように設計されていますが、ハードディスクやその他のエラーにより、適切に録画されない可能性があります。製品の定期的なメンテナンスを行ってください。
- 製品は使用者が設定を変更できるように設計されていますが、誤った設定を行うと誤動作をもたらすことがあります。
- 製品は公認された設置業者によってのみセットアップしてください。
- 製品が接続されてからの外部アクセサリ（カメラ、センサー、LAN、ハードディスクなど）の接続は、外部不良の誤動作のリスクを招きます。公認された設置業者によって定期メンテナンスを行ってください。
- 製品のラックへの設置には、専用のラック取付金具をご使用ください。
- 本製品では、1KB=1024B、1MB=1024KB、1GB=1024MBと換算して数値を表記しております。

警告

- 日光が直接当たる場所や発熱体から近い場所への製品の設置は避けてください。(出火の原因となります。)
- 製品の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬、また液体を入れた入れ物などを置かないでください。(落下により出火、感電、または人・物に障害を与える恐れがあります。)
- 金属物(コイン、ヘアピン)や可燃物(マッチ、紙)を通気孔に挿入したり落としたりしないでください。(出火や感電を引き起こす原因となります。)
- 製品の上に重い物を置かないでください。(落下や破壊によって人・物に損傷を負わせる原因となります。)
- 電源プラグは抜けないようにしっかりと差し込んでください。(出火の原因となります。)
- 稲妻や雷が鳴っている場合、システムをシャットダウンしてください。(雷の影響を受ける場合があります。)
- 製品をクリーニングする時は、乾いたタオルで表面を拭いて下さい。化学薬品やクリーナーを使用すると色に変色したり塗料が剥げる恐れがあります。
- 一度にいくつものプラグをタコ足配線で使用しないでください。(感電の恐れがあります。)煙または異臭を感じた場合、操作をお止めください。この場合、直ぐに電源を切りプラグを抜いてください。その後、ご購入いただきました販売代理店にご連絡ください。(そのままご使用になりますと、出火や感電の原因となります。)
- コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。(コードが破損する恐れがあり、出火や感電を起こす場合があります。)
- 濡れた手でプラグを抜いたり差し込んだりしないで下さい。(感電の原因となります。)
- 電源コードをねじったりしないで下さい。(出火や感電を引き起こす原因となります。)
- 適切なアダプターをご使用下さい。(あまりに多くの電力を使用しますと、出火や感電を引き起こす場合があります。)
- 雨風が当たる場所に設置しないで下さい。(出火、感電、またその他の故障の原因となります。)
- 火、また出火しやすい場所から離してください。(出火の原因となります。)
- 分解や改造などはしないで下さい。(感電や故障の原因となります。)
- 可燃性スプレーのような可燃性のものを側に置かないで下さい。(出火の原因となります。)
- ほこりの多い場所に設置しないで下さい。(出火の原因となります。)
- 揺らぐテーブルの上や傾斜場所のような不安定な場所に設置をしないで下さい。(落下により人・物に障害を与える危険性があります。)
- 重い物を電源コードの上に置いたり、またデバイスの圧迫にもご注意ください。(出火や感電の原因となります。)
- エクステンションコードをご使用になるときは、同時に数台のデバイスのご使用は避けてください。(異常な加熱により発火する恐れがあります。)
- 電源プラグピンまたはコンセントの上に土ぼりがあるときには、丁寧に掃除してください。(出火の原因となります。)
- 電源コードやプラグを、曲げたり、ねじったり、または引っ掛けたりしないで下さい。また、熱い場所に置かないでください。コンセントの挿入部分がピッタリと入らない場合は、使用しないで下さい。(出火や感電の原因となります。)
- 製品を落下させたり衝撃を与えたりしないで下さい。(人に障害を与えたり、製品の故障の原因となります。)
- 電源アダプターに触れないで下さい。(感電する恐れがあります。)
- 冷却用ファンの開口部を塞がないで下さい。(発火の原因となります。)
- 不適当な電池交換をしますと、爆発する危険性があります。
- ご使用済みの電池は、正しい方法により処分して下さい。
- 幼児が間違っって電池を口にしない様に、気を付けて下さい。(もし幼児が電池を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師にご連絡下さい。)

目次

第1章 本体構成説明	1
1 製品の構成と名称	2
1-1 構成品	2
1-2 製品の説明	3
1-2-1 前面パネル	3
1-2-2 背面パネル	4
1-2-3 リモコン	5
2 設置	7
2-1 設置環境のチェック	7
2-2 HDD 装着時の注意事項	7
2-3 HDD の取り付け	7
2-4 HDD の追加	7
3 他の機器との接続	8
3-1 基本的な接続	8
3-2 モニターの接続	8
3-3 カメラの接続	8
3-4 電源の接続	8
3-5 オーディオの接続	8
3-6 USBデバイスの接続	9
3-7 eSATA 接続	9
4 入出力端子の接続	10
4-1 電線の先端処理方法	10
4-2 電線の挿入 / 取り外し方法	10
4-3 センサーの接続	10
4-4 センサー入力端子の接続	10
4-5 リレーの接続	11
4-6 COM1 シリアルポート、外部機器との接続	11
4-8 シリアルポート 2 個を使用した構成	12
第2章 本体取扱説明	15
1 監視画面	16
1-1 ライブ画面	16
1-2 単画面	16
1-3 分割画面	16
1-4 ステータスバー	16
1-5 メインメニュー	16
2 各種設定	19

2-1	設定	20
2-1-1	日付/時刻	20
2-1-2	ディスク	21
2-1-3	ユーザー設定	23
2-1-4	ユーティリティ	24
2-2	ネットワーク	26
2-2-1	ネットワーク	26
2-2-2	WRS (Webgate Dynamic IP Registration Server)	27
2-3	デバイス	28
2-3-1	カメラ	28
2-3-2	モニター	29
2-3-3	オーディオ	30
2-3-4	テキスト	30
2-4	イベント	32
2-4-1	イベント	32
2-4-2	モーション	34
2-4-3	センサー	35
2-4-4	プリセット	35
2-5	録画	36
2-5-1	録画	36
3	再生	39
3-1	再生モード	39
3-1-1	監視画面上での再生	39
3-1-2	再生機能 (フロントパネルボタン)	39
4	検索	40
4-3	イベント検索	42
5	コピー (バックアップ)	43
5-2	EXEコピー	44
5-2	AVIコピー	45
5-3	コピー再生	46
5-3-1	EXEでのコピー再生	46
5-3-2	AVIでのコピー再生	47
5-4	miniplayer 説明	48
6	Webビューワー	51
6-1	PC推奨環境について	51
6-2	ログイン	51
6-3	モニター	53
6-3-1	ライブ画面	53
6-3-2	分割ボタン	55

6-3-3	Channel、Sensor、Relay、Mic	55
6-3-4	オプションボタン	56
6-3-5	イベントデータ	56
7	再生	57
第3章	Control Center Std 取扱説明	61
1	製品概要	62
1-1	Control Center について	62
1-2	PC 推奨環境について	62
1-3	プログラムインストール	62
1-4	クイックスタート	65
2	Control Center Monitor	67
2-1	画面	67
2-1-1	ツールバー	67
2-1-2	サイトツリー	68
2-1-3	メインビュー	68
2-1-4	イベントビュー	68
2-2	ライブ表示	70
2-2-1	ライブ表示画面	70
2-2-2	画面分割	70
2-2-3	全画面表示	70
2-2-4	画面移動	70
2-2-5	ユニット情報表示	71
2-2-6	表示解像度	71
2-2-7	イベント	71
2-2-8	イメージの保存	72
2-2-9	音声制御	73
2-2-10	すべてのモニター画面を閉じる	73
3	Control Center Playback	74
3-1	画面	74
3-1-1	ツールバー	74
3-1-3	再生制御ビュー	75
3-1-4	ログビュー	75
3-1-5	HDD 状況ビュー	75
3-1-6	チャンネルビュー	75
3-1-7	カレンダービュー	75
3-2	ユニット/バックアップファイルを開く	75
3-3	検索	75
3-3-1	イメージ情報インジケータ検索	75

3-3-2	ログ検索	76
3-3-3	カレンダー検索	76
3-4	録画再生	76
3-4-1	録画再生ボタン	76
3-4-2	音声再生	76
3-5	静止画	77
3-5-1	静止画の調整	77
3-5-2	静止画保存	77
3-5-3	静止画の印刷	77
3-6	バックアップ	78
4	Control Center Configuration Tool	79
4-1	画面	79
4-1-1	サイトツリー	79
第4章	WNS(Webgate Naming Service) 設定手順	81

MEMO

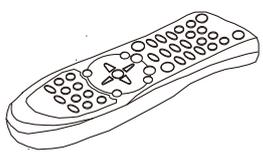
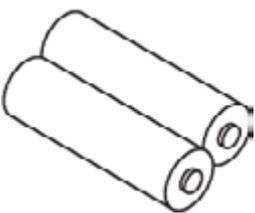
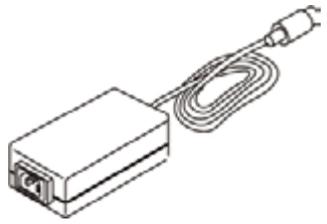
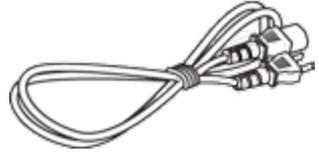
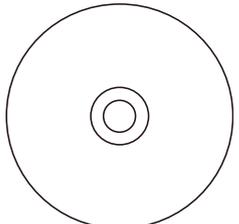
第1章 本体構成説明

取扱説明は、原則として製品が発売された当初のものを掲載しています。
従って、記載内容とお客様がお持ちの製品の仕様が、その後のマイナーチェンジなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 製品の構成と名称

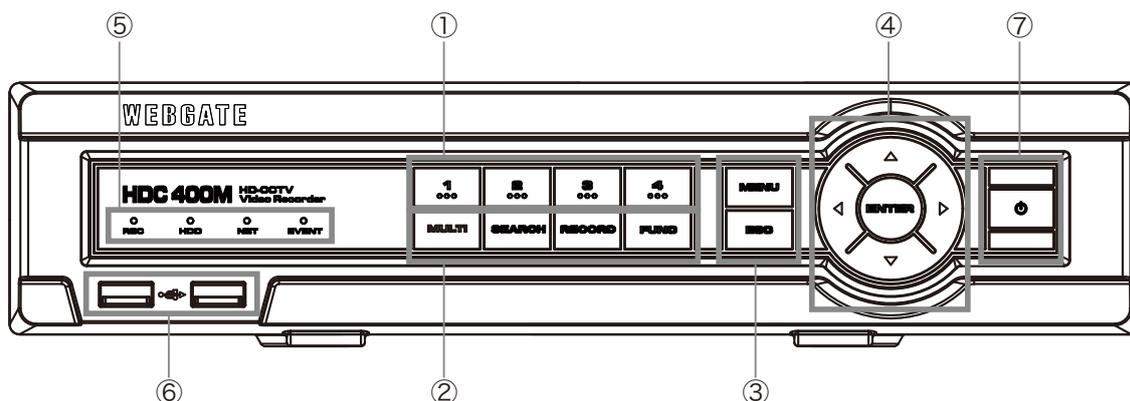
1-1 構成品

製品購入時付属のコンポーネントが含まれているかどうかを確認してください。

		
DVR	リモコン	マウス
		
電池	電源アダプター	電源コード
		
ソフトウェア&マニュアル CD	取扱説明書	

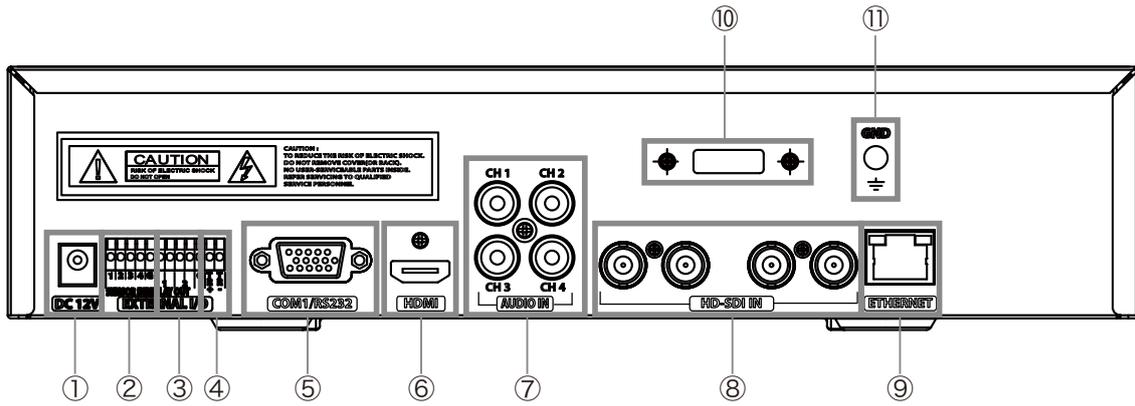
1-2 製品の説明

1-2-1 前面パネル



名称	機能
① タッチチャンネルボタン チャンネルLED	ライブモニタリングおよび再生中、タッチしてチャンネルを選択 ビデオ入力及びイベント動作のステータス表示
マルチボタン	ライブおよび再生中に分割画面モードへの切り替え
サーチボタン	時間、カレンダー、イベント、サムネイル検索をサポートするサーチメニューを開きます。
② ボタン	マニュアル録画の開始及び停止
ファンクションボタン	メインメニュー、分割画面、オートシーケンス、コピー、検索、再生、キーロック、ログアウト、及び電源オフなどを操作できるファンクションメニューを開きます。
③ ESC	現在のメニューから出るか、再生からライブモードに戻ります。
メニュー	メインメニューに入ります。
④ ◀ (左に移動)	メニューで、左の項目に移動 (逆再生の場合、再生速度を変えます。)
▶ (右に移動)	メニューで、右の項目に移動 (再生の場合、再生速度を変えます。)
▲ (上に移動)	メニューで数値を増やします。(再生を休止)
▼ (下に移動)	メニューで数値を下げます。(再生を休止し、ライブに戻します。)
エンター (選択)	サブメニューに入ります。(再生開始)
⑤ 録画用LED	点滅で録画開始を表示
HDD LED	点滅でHDD 作動を表示
ネットワークLED	点滅でネットワーク接続を表示
イベントLED	イベントでトリガーがかかったときに、点灯
⑥ USBポート	フラッシュメモリーまたはマウスのためのUSB ポート
⑦ パワーボタン	DVR 電源オンおよびオフ

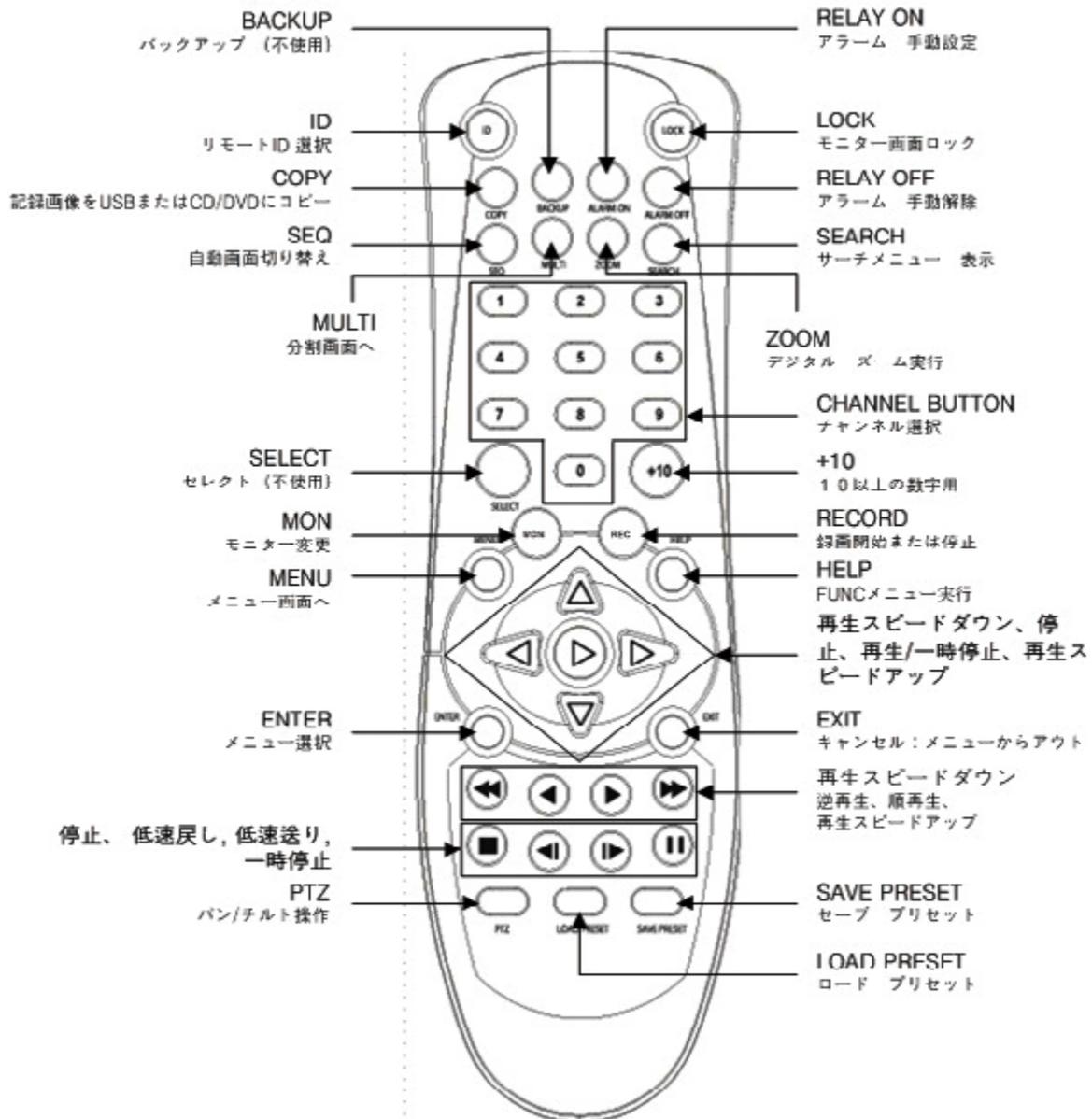
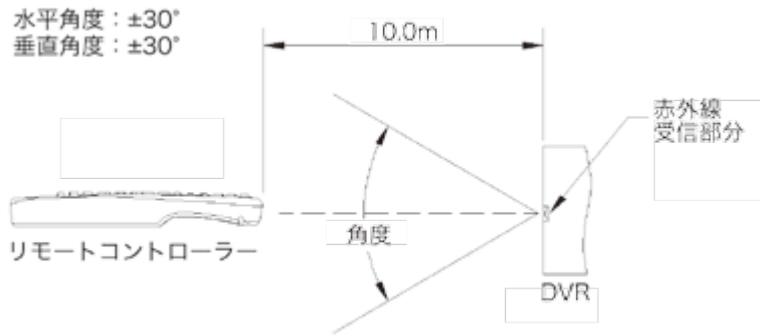
1-2-2 背面パネル



	名称	機能
①	電源入力	電源入力用コネクタ
②	センサー入力	外部センサー用入力コネクタ
③	リレー	リレー出力コネクタ
④	COM2	RS-485 コネクタ
⑤	COM1	RS-232C 用 D-SUB コネクタ
⑥	HDMI	モニター用ビデオ出力 HDMI コネクタ
⑦	音声入力	音声入力用 RCA コネクタ
⑧	HD-SDI 入力	カメラ入力用 BNC コネクタ
⑨	ETHERNET	ネットワーク用 RJ45 コネクタ
⑩	eSATA	外部保存用 eSATA コネクタ
⑪	GND	GND 端子

1-2-3 リモコン

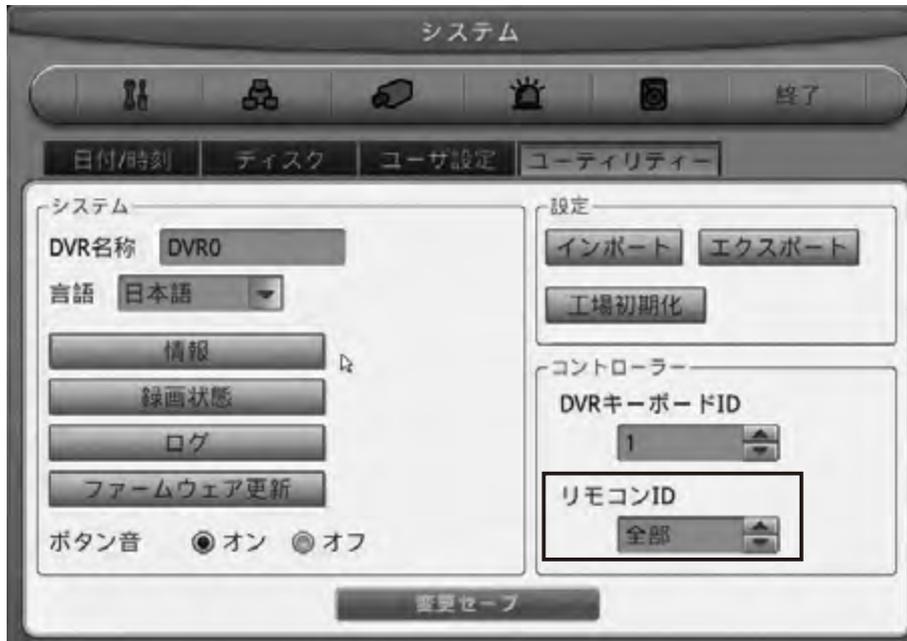
製品のすべての機能进行操作することができます。また、一つのリモコンで複数の製品を操作できます。リモコンを使用するには、システム設定のリモコンIDの部分で使用するIDを設定する必要があります。リモコン1台で最大16台のDVRを操作できます。



リモコンIDを設定

メニュー→システム→ツール

本製品を複数で使用する場合、リモコンIDを区別して1つのリモコンで複数の製品を操作することができます。リモコンIDは1～16まで設定可能で、すべてのIDを使用したい場合は[全部]を設定します。



リモコンID選択

異なるIDが設定された多数の製品を一つのリモコンで選択して操作することができます。必要なDVRを選択するには、2秒程度のBEEP音が鳴るまでリモコンのIDボタンを押します。

2 設置

2-1 設置環境のチェック

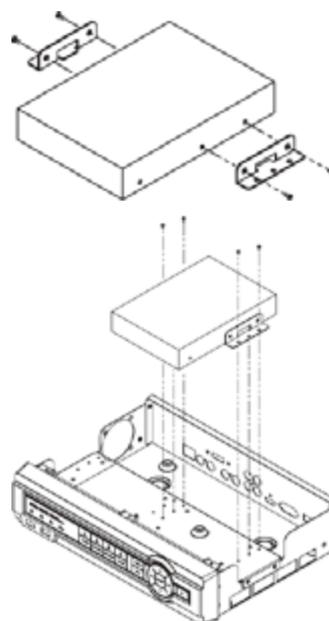
製品の内部温度が高い場合、寿命が短くなったり、障害が発生することがありますので、インストール前に、以下の推奨事項を参照してください。

ここでは、DVRをラックに設置する場合の推奨事項です。

1. DVRが設置されているラック内を密閉しないようにします。
2. 吸入口と排気口を通した空気の循環を円滑にします。
3. 製品を積層する場合、一定のスペースを確保したり、空気の循環経路を設けてください。
4. 各吸入口と排気口には空気循環用のファンを設置することを強くお勧めします。
(プロジェクトの通気排気口の開口部にろ過フィルターを設置します。)
5. DVR周囲の温度が、0°C～40°Cになるよう保持します。

2-2 HDD 装着時の注意事項

1. HDDは衝撃に非常に弱い製品でDVRに装着する際にHDDに衝撃が加わらないように十分に取り扱いに注意してください。
2. 作業時のケーブルが不適切な場所に引っかかったり、絶縁被覆が剥がれたりしないように注意してください。
3. ネジや部品をなくさないように注意してください。
(ネジや部品が正常に使われていない場合は、製品に故障が発生するなど、正常に動作しない可能性があります。)
4. HDDを追加する前に、サポートしている互換性リストのHDDを確認してください。
(互換性リストは、弊社CSチームにお問い合わせください。)
5. PCや他のDVRモデルで使用していたHDDは、パーティションテーブルを削除しないと使用できません。



2-3 HDDの交換

- 1 ネジでHDDブラケット両側を留めてください。
- 2 ねじ固定HDDブラケットを本体に装着して本体固定ねじを締付けて下板に固定します。

<参考>

マザーボードのSATAケーブルソケットの配列は以下のとおりです。
一台のHDDをDVRに取り付け可能です。

メインボードソケット	ディスクマネージャー
J7	Int A
J8	eSATA

※ HDDの交換作業は、必ず販売店にお問い合わせください。
設置や設定方法が正常に行われなかった場合、動作しない可能性があります。

3 他の機器との接続

3-1 基本的な接続

3-2 モニターの接続

モニターがサポートする解像度を最初に確認し、モニターを接続します。
HDMIポート使用時：1920×1080p (HDMI v1.2 Standard)

<ご注意>

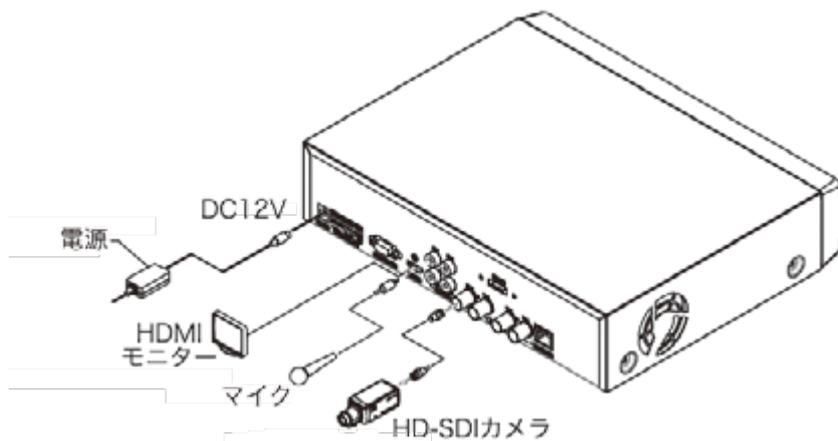
HD-SDI規格に準ずるカメラを使用してください。

モニターのHDMI入力か、1080p60に対応しているかご確認ください。

3-3 カメラの接続

HD-SDIカメラをDVRに接続する場合、推奨された同軸ケーブルをお使いください。

接続されたカメラの解像度(1080p or 720p)は、DVRが立ち上がった際、自動的にDVRに認識されます。



同じ解像度のカメラをDVRに接続するようにしてください。異なった解像度のカメラを混ぜて接続することはできません

3-4 電源の接続

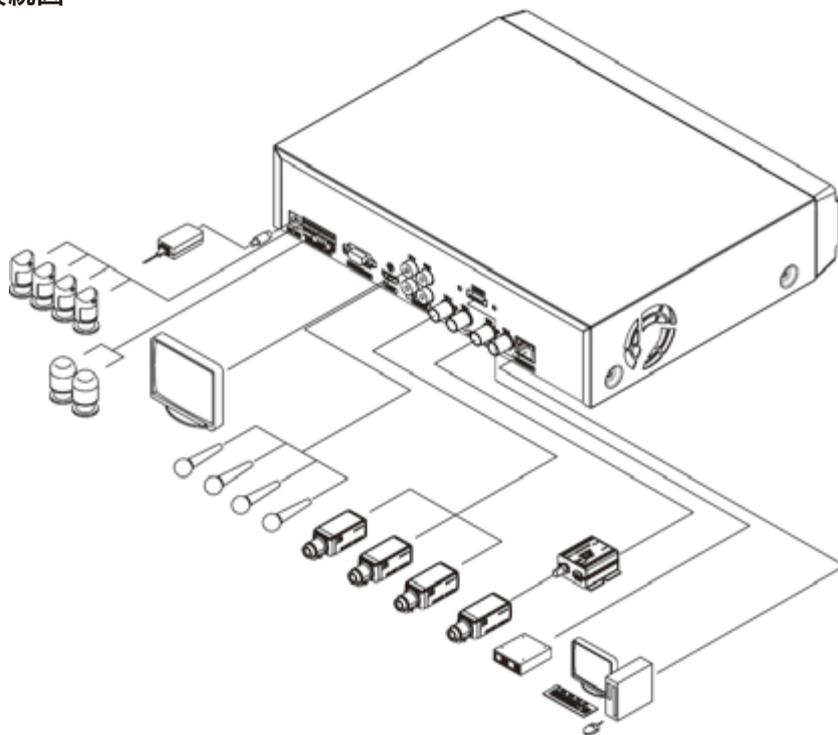
電源を接続すると自動的に電源が入り、起動します。

電源が入っている状態で電源スイッチを5秒間押しすと、ダイアログボックスが表示され、[はい]を選択すると、電源が切れます。再度電源を入れるときは、電源スイッチを押します。

3-5 オーディオの接続

RCAケーブルを使用して、図のようにDVRのオーディオ入力デバイスを接続します。

他の機器との接続図



3-6 USB デバイスの接続

USB ポートで、保存映像のコピーと USB マウスを使用することができます。
USB デバイスの定格は、以下の仕様を超えないようにします。

USB バージョン	Ver 2.0
使用可能デバイス	USB メモリースティック
出力電圧 / 電流	各 DC 5V 最大 200mA

<参考>

対象USBメモリはFAT32でフォーマットされている必要があります。

3-7 eSATA 接続

外付け eSATA を使用する場合は、背面 1 ポートに接続して使用でき、DVR は電源を供給していないため、外部電源を使用している機器のみ使用できます。

4 入出力端子の接続

4-1 電線の先端処理方法

ターミナルブロックの使用電線の終端処理方法は以下の通りで、単線や撚り線を使用する場合は、使用可能な線の太さが異なりますので注意して作業します。

- 撚り線：線を指定した長さ（8～10mm）だけ剥いて、芯線に半田を付けて使用します。
- 単線：電線を指定された長さ（8～10mm）だけ剥いて使用しています。

4-2 電線の挿入 / 取り外し方法

ターミナルブロックに電線を挿入/削除するときは、図のようにレバーを押して、電線を挿入、または取り外します。

参照

1. eSATA は、場合によっては DVR と互換性のない製品がありますので、必ずご使用前に販売店に連絡し、互換性を確認し購入してください。
2. DVR が動作中に eSATA を接続しても認識が正常にするか、外付けデバイスに基づいて認識ができない場合があります。したがって、次の順序で接続することをお勧めします。
 - 1) DVR の電源を OFF します。
 - 2) eSATA の電源を OFF した状態で、DVR に接続します。
 - 3) eSATA の電源を ON します。
 - 4) DVR の電源を ON します。

4-3 センサーの接続

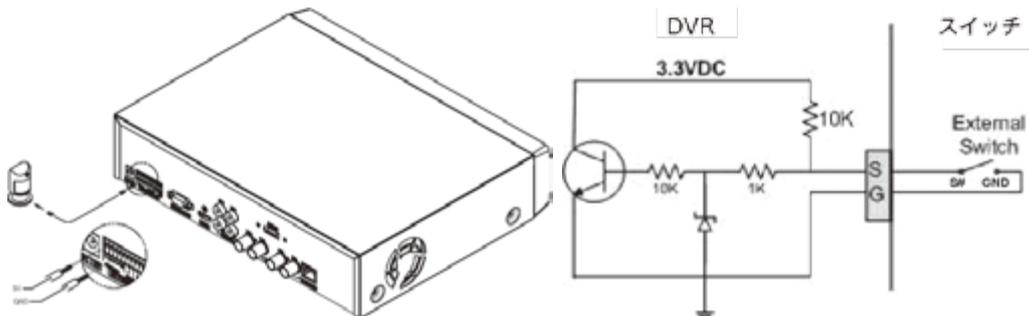
仕様

センサー入力は、以下のような仕様と通常の動作条件があります。

諸元	入力回路数	4
	入力フォーム	N.C、N.O サポート
	サポートセンサー	無電源接点（ドライ接点）センサー
	接続方法	ターミナルブロックに被覆を剥いた電線を接続して使用
電気的 性能	有効な入力パルス幅	最小 500ms
	出力電流	Typical DC 12mA

4-4 センサー入力端子の接続

センサー入力は、次の図を参照して接続します。下の図は、無電源接点（ドライ接点）を持つセンサーを接続する例を示します。電線を接続または取り外す場合、「電線の取り扱い」を参照してください。



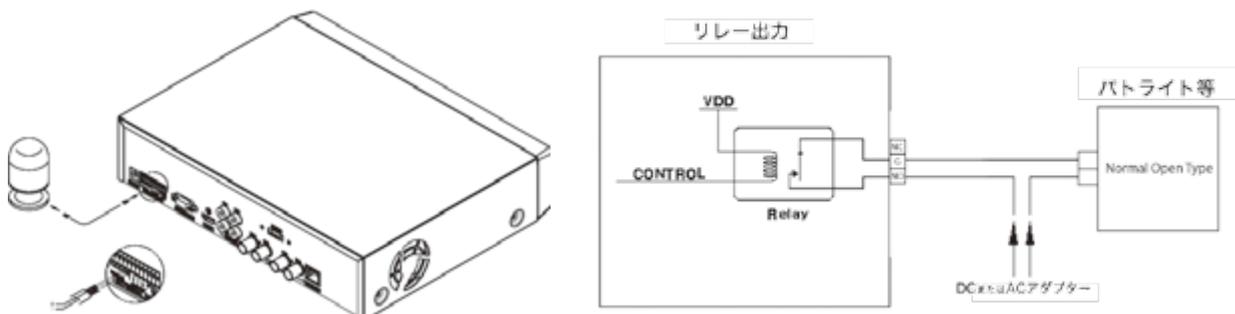
4-5 リレーの接続

仕様

アラーム出力は、以下のような仕様と通常の動作条件があります。

R1～4の出力は、下の図を参照して接続します。警告灯を接続する例を示します。電線を接続または取り外す場合、4-1 電線の先端処理方法 (P.10) を参照してください。

諸元	出力回路数	2つのリレー出力
	出力方式	無電源接点 (ドライ接点)
	接続方法	ターミナルブロックに被覆を剥いた電線を接続して使用
定格	DC	30V 1A
	AC	125V 0.5A



4-6 COM1 シリアルポート、外部機器との接続

テキスト入力機器との接続 (ATM/POS/Access Control)

COM1/RS232通信端子を利用して、POS/ATMのような機器から出力されるテキストデータを映像情報と連動して一緒に録画することができます。

参照

各COMポートごとに1つのデバイスを接続して使用することをお勧めします。一つのCOMポートに複数のデバイスを接続して使用するためには、関連した専門知識が必要であり、ユーザーが勝手な接続をした場合には、機器の故障や動作不能などの問題が発生する可能性があります。



4-7 PTZカメラ及びコントローラーの接続

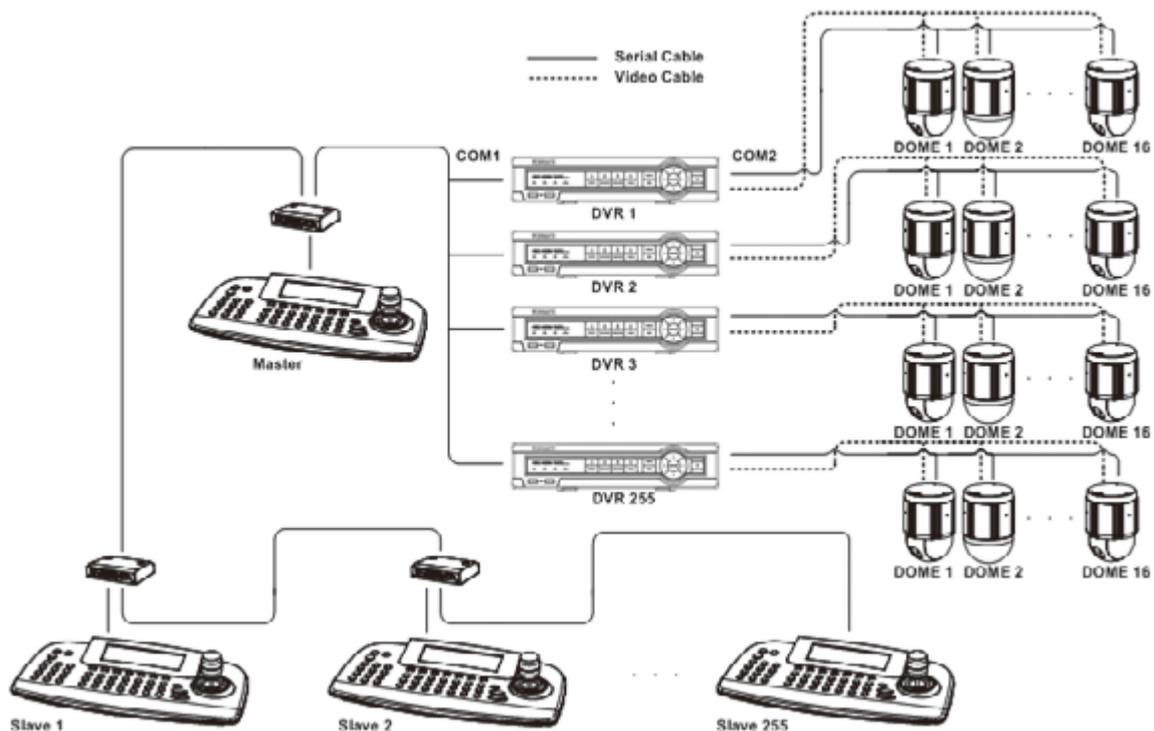
コントローラーを用いて、最大16台のDVRを接続して使用が可能です。DVRのすべてのボタン操作が可能で、DVRに接続されたすべてのチャンネルに対してPTZカメラ操作が可能です。また、複数台のコントローラーをSlaveに拡張接続し、マスターコントローラーで制約を受けずに使用できます。この時点ですべての操作に対する優先順位は、マスターコントローラーが与えられます。

PTZカメラとコントローラーの詳しい接続や操作方法は、PTZカメラデバイスとコントローラーに付属のマニュアルを参照してください。

4-8 シリアルポート 2 個を使用した構成

PTZカメラとキーボードは、DVR 2 シリアルポートに接続できます。この場合、キーボードで、DVR と PTZカメラを同時にコントロールすることができます。また、DVR は、PTZカメラをコントロールできます。

操作接続	連結装置
コントローラー (Master/Slave)	すべての DVR 操作可能、すべての PTZ カメラの操作が可能
DVR	DVR に直接接続された PTZ カメラの操作が可能



4-9 シリアルポート 1 個を使用した構成

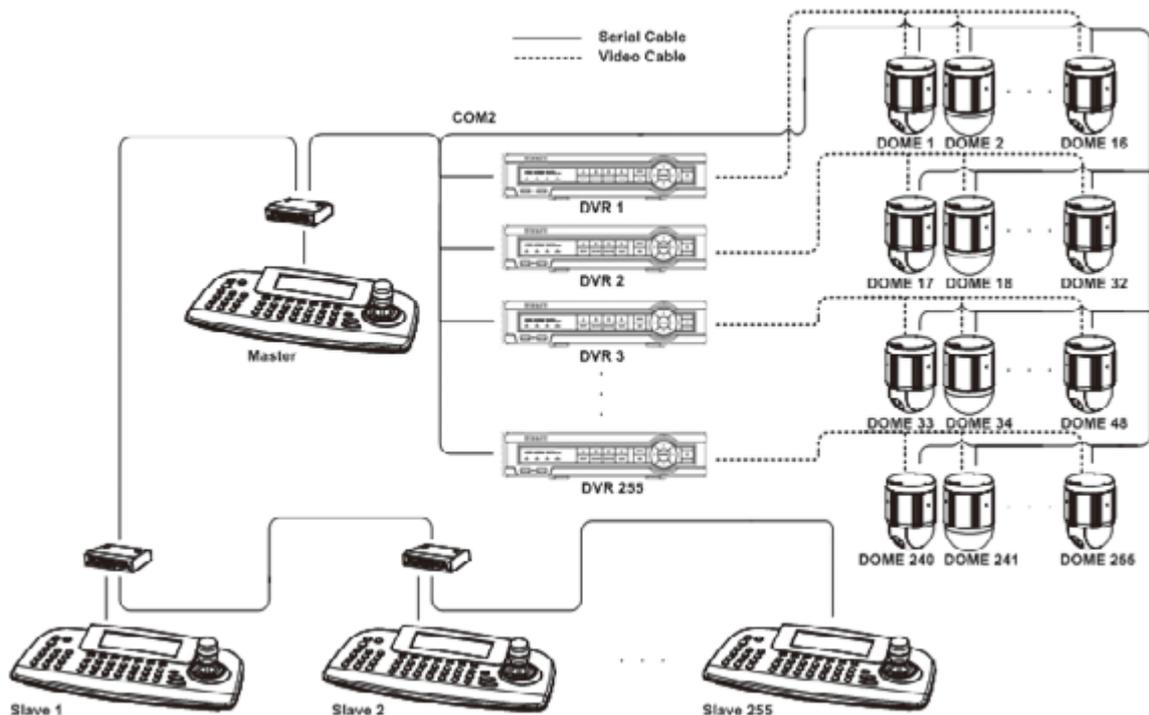
1 シリアルポートを使って、PTZとキーボードを一つのポートに接続することができます。また、キーボードで PTZ を選択することも可能です。DVR の COM ポートの設定により、接続された制御可能な機器が選ぶことができます。また、DVR ID を選ぶことにより、キーボードでいくつかの DVR が制御可能になります。

DVR の COM ポートに PTZ デバイスを設定した場合は、以下のように使用することができます。

操作接続	連結装置
コントローラー (Master/Slave)	すべての DVR 操作できません / 全ての PTZ デバイスの操作が可能
DVR	DVR に直接接続された PTZ のみを操作可能

DVR の COM ポートにコントローラーを設定した場合は、以下のように使用することができます。

操作接続	連結装置
キーボード (Master/Slave)	すべての DVR 操作可能 / 全ての PTZ デバイスの操作が可能
DVR	すべての PTZ 装置操作ができません



5 使用するメニューの構成

フロント・パネルのキーパッドで、[MENU] ボタンを押すか、マウスを右クリックし、[メインメニュー] ボタンをクリックすると設定画面に入り、下の図のようにメニューが表示されます。メニューから出るには、終了ボタンを押してください。

①**メインメニュー**：現在選択された項目は、オレンジ色になり、画面の上部に項目の名前が表示されます。項目間の移動は[◀/▶]を利用し、サブメニューへの移動は[Enter] ボタンを押してください。マウス使用時には、希望のメニューをクリックしてください。



②**サブメニュー**：現在選択された項目は、項目のタイトルが表示され、サブメニュー項目に対応する設定ダイアログボックスが表示されます。項目間の移動は[◀/▶/▲/▼]を利用するか、マウスで項目をクリックしてください。設定ダイアログボックスでの移動は[Enter] ボタンを押すか、マウスでクリックしてください。トップメインメニューへ移動したい場合は[ESC] ボタンをクリックします。

③**設定ダイアログボックス**：選択した項目はオレンジ色で表示され、項目間の移動は[▲/▼/◀/▶]カーソルキーを使用するか、マウスで項目をクリックします。この項目を設定したい場合は、[Enter] ボタンを押すか、マウスで項目をクリックします。項目値の属性は、文字列(英/数を含む)と数字で区別することができ、文字列の場合は、[文字列の入力]ダイアログボックスが表示され、文字列を入力できるようになり、数値の場合は、その値を[▲/▼/◀/▶]カーソルキーを使用するか、マウスで文字をクリックして入力します。入力が終わったら、マウスで[Enter] ボタンをクリックします。また、上位サブメニューへ移動したい場合には項目をマウスでクリックします。

MEMO

第 2 章 本体取扱説明



1 監視画面

1-1 ライブ画面

DVRの電源を入れると自動的に監視ライブ画面になります。



1-2 単画面

単画面表示したいカメラ画面をマウスでクリックするか本体のパネルの番号を押す、もしくはリモコンで対応した番号を押すと1画面表示します。

1-3 分割画面

単画面表示を分割表示にする場合は本体もしくはリモコンで【MULTI】ボタンを押すか、マウスでダブルクリックします。



1-4 ステータスバー

監視画面下にあるステータスバーは、現在の日付・録画設定状態・イベント検出などDVRの現在の状態を表示します。

1-5 メインメニュー

ライブ画面でマウスの右クリックまたは、本体【FUNC】ボタン、リモコンの【HELP】ボタンを選択すると下図のようにメニューが表示されます。



①メインメニュー

この項目は設定画面に入ります。詳細は2 各種設定 (P.6) をご参照ください。



②メインモニター

この項目は分割表示選択です。画面右上に分割表示可能なアイコンが出ます(右図)ので、4分割もしくはカメラ番号を選択すると、ディスプレイが切り替わります。



③自動切替

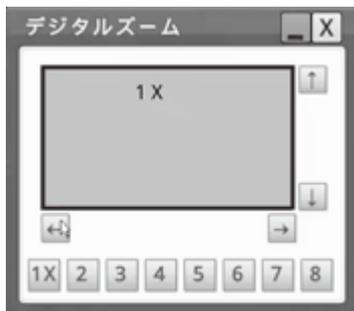
この項目はカメラの自動切替ボタンです。ライブ画像の単画面が自動で切り替わります。

④フリーズ

この項目は、ライブ画面のフリーズボタンです。ライブ画像がフリーズします。フリーズ機能が働いていると画面右上に「FREEZE」と表示されます。フリーズを解除する場合は本体の【ESC】ボタンまたはマウスで画面の「FREEZE」表示をクリックします。

⑤デジタルズーム

この項目は画面のデジタルズームボタンです。分割画面では選択できません。単画面表示した状態で選択可能になります。デジタルズーム機能が働いていると画面右上に下図のような表示が出ます。



ズームは最大8倍まで可能です。
ズーム位置は「↑」「↓」「←」「→」ボタンで調整できます。
ズーム機能を解除する場合は本体の【ESC】ボタンまたは「x」ボタンをクリックします。

⑥PTZ

この項目は単画面表示した状態でメニュー画面を表示したときのみ出てくるボタンです。PTZカメラがDVRに接続されている場合のみ使用することが出来ます。

⑦リレー

この項目は手動でリレーをオン・オフする機能です。

⑧コピー

この項目は本体DVRのHDDに記録されているデータをUSBメモリーにバックアップするボタンです。詳細は5コピー (P.43) を参照ください。

⑨検索

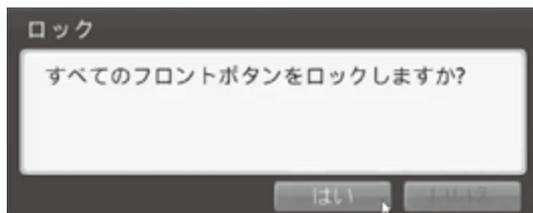
この項目は本体DVRのHDDに記録されているデータを検索するボタンです。詳細は4検索 (P.40) を参照ください。

⑩再生

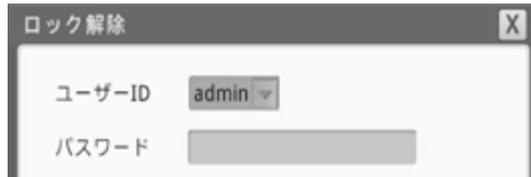
この項目は本体DVRのHDDに記録されているデータを再生するボタンです。詳細は3再生 (P.39) を参照ください。

⑪ロック

この項目はDVRの操作にロックをかけるボタンです。このボタンを選択すると下図のような表示が出ます。



「はい」を選択すると操作をロックします。「いいえ」を選択するとロックしません。
ロックを解除するためにはマウスをクリックもしくはリモコンのボタンを押すと次ページのようなログインウィンドが出てきます。パスワードを入力するとロックが解除になります。

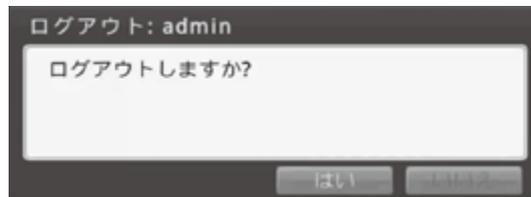


参照

管理者 (admin) パスワードは【12345】です。
User1 ~ 9 の初期パスワードは【11111】【22222】・・・【99999】となります。
ただし user10 のパスワードは【00000】となります。

⑫ ログアウト

ログアウトボタンです。本機は初期設定では、電源投入時 admin (管理者) として起動します。ユーザーを切替えたいときに使用します。このボタンを選択すると下図のようになります。



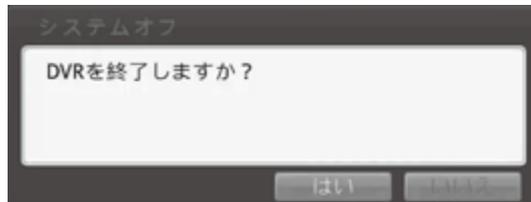
「はい」を選択すると画面が消えます。ログアウトしない場合は「いいえ」を選択します。ログアウトした場合は、下図のようになります。



ログインしたいユーザーを選択し、パスワードを入力するとライブ画面に戻ります。詳細は 2-1-③ ユーザー設定 (P.23) を参照ください。

⑬ 電源

このボタンは DVR 本体の電源を切る場合に使用します。このボタンを選択すると下図のようになります。



電源を切らない場合は、「いいえ」を選択します。
電源を切る場合は「はい」を選択します。
「はい」を選択すると自動的に電源が切れますのでそのままお待ちください。



注意

**DVR 本体を終了する場合は必ず、この方法で終了させてください。
正常に電源を終了しないと故障の原因となります。**

2 各種設定

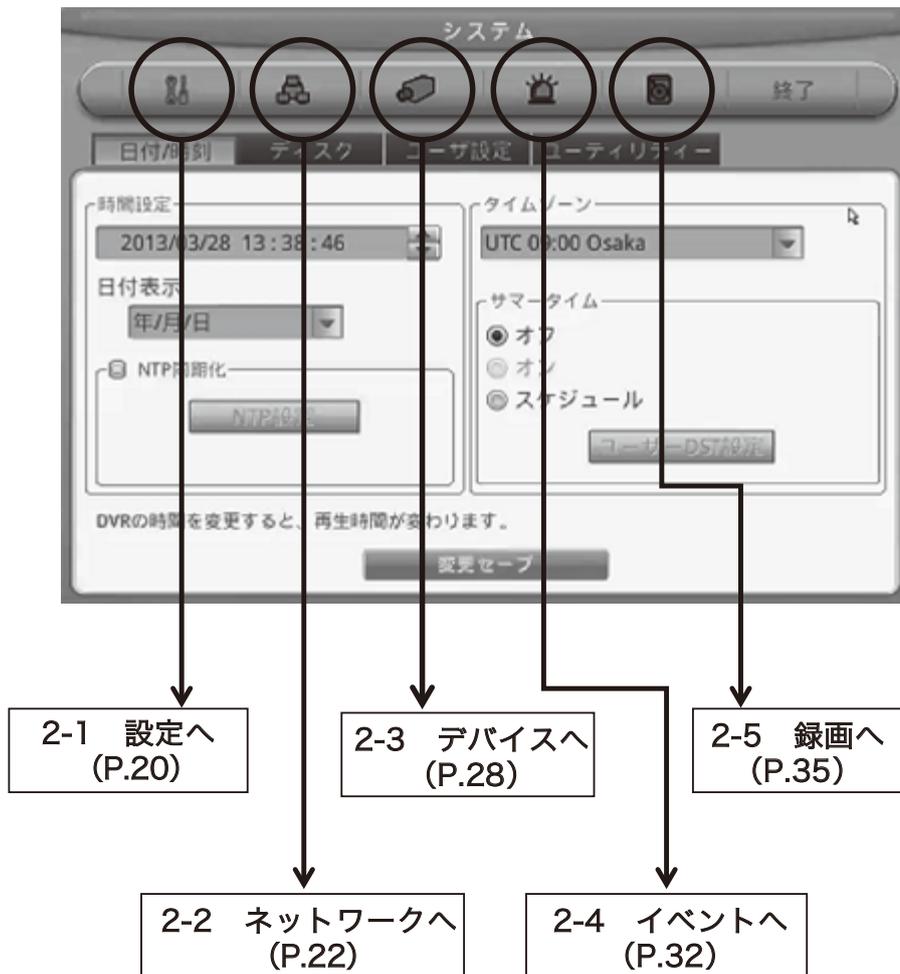
監視画面でマウスを右クリックもしくは本体【FUNC】ボタン、リモコンの【HELP】ボタンを押すと下図の表示が出ます。



ボタンを選択します。

(本体の【MENU】ボタン、またはリモコンの【MENU】ボタンを押しても選択できます。)

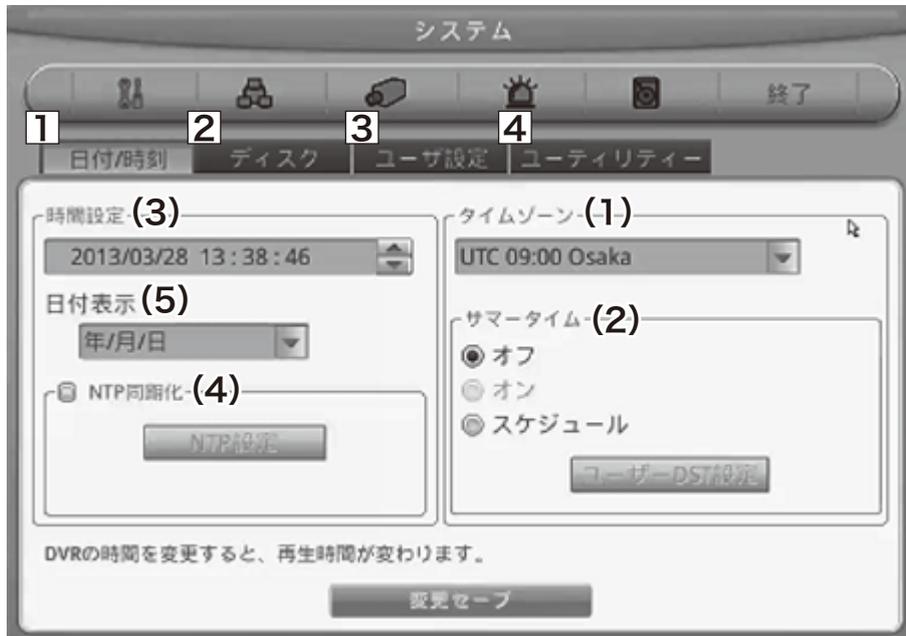
メインメニュー



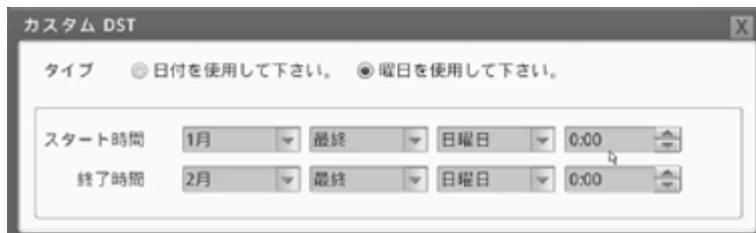
2-1 設定

設定画面は次のようになります。

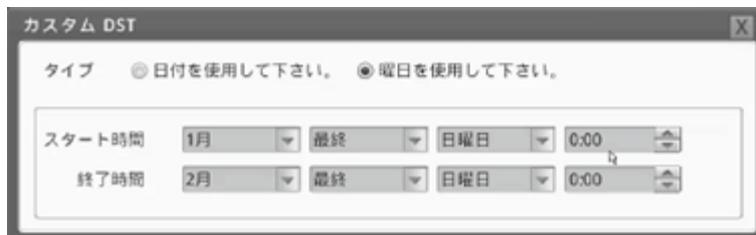
2-1-1 日付/時刻



- (1) タイムゾーン：DVRを使用する地域のタイムゾーンを選択できます。
- (2) サマータイム：[オフ]、[オン]、[スケジュール]を選択できます。
ユーザー-DST設定を選択すると下図のようになります。

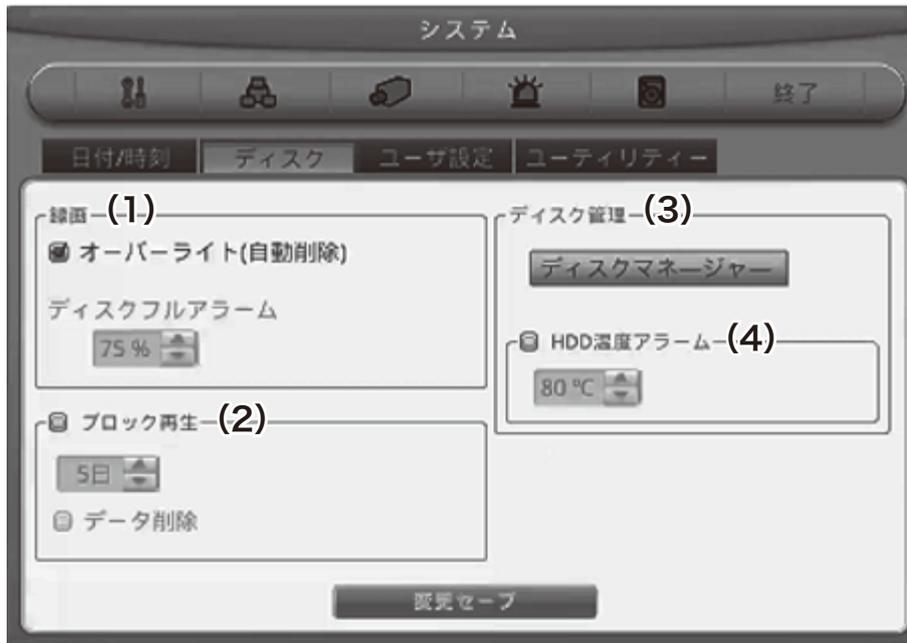


- (3) 時間設定：現在時刻の修正を手動で設定できます。
- (4) NTP同期化：NTPを設定する場合下図の画面で設定します。



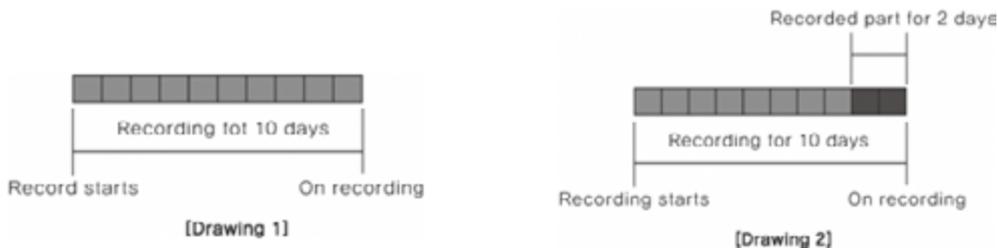
- (5) 日付表示：日付表示パターンを選択します。 [] ボタンで表示パターンを変更します。

2-1-2 ディスク



- (1) 録画：ディスクフルアラーム設定：DVR ディスクの総使用量を設定した容量まで保存された場合お知らせします。
 オーバーライト（自動削除）をチェックすると HDD 容量が一杯になった場合に古いデータを削除して上書きを続けます。
 ※オーバーライトをチェックしない場合、データが HDD 容量一杯になり次第、録画停止となります。

- (2) ブロック再生：設定した日数分のデータしか再生できないようにします。



例えば、すでに 10 日間録画されており、ブロック再生を 2 日と設定した場合、録画データとしては、10 日間記録されていますが、再生は現在より 2 日前までしかできません。

「データ削除」をチェックすると再生制限の設定した日付分だけ録画します。
 例えば再生制限の設定期間を 3 日に設定すると、現在の時刻を基準として 3 日間のデータのみを保持し、3 日以前のデータは上書きされます。削除されたデータは復元できませんのでご注意ください。

(3) ディスク管理

「ディスクマネージャー」: HDD を追加した場合の認証や取り外し、フォーマットなどを行います。



DVR に接続されているドライブの情報が表示されます。

タイプ : HDD もしくはその他のドライブの接続場所です。

IntA (内部 A の HDD)、IntB (内部 B の HDD)、CD/DVD (DVD ドライブ)

モデル : 各タイプのモデル名が表示されます。

不良ブロック : HDD 内の不良ブロックを表示します。不良ブロックの数が表示されます。
0 は正常です。

サイズ : 各ドライブの容量を表示します。

温度 : HDD の温度を表示します。

S.M.A.R.T : HDD が正常かどうかの状態を表示します。

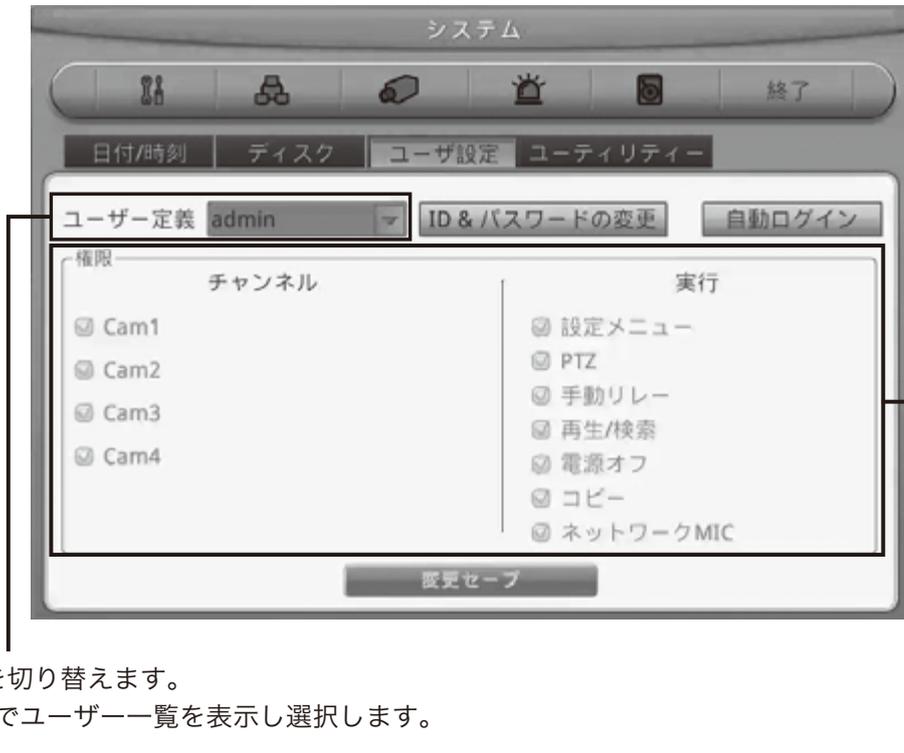
活性化 : HDD の使用状況を表示します。「はい」は使用、「いいえ」は未使用です。

(4) HDD 温度アラーム

チェックを入れると HDD が設定した温度に達するとアラーム表示をします。

2-1-3 ユーザー設定

ユーザー 1 ～ 10 までに使用できる機能権限をそれぞれに与えられます。
admin (管理者) は全ての権限があります。



ユーザーを切り替えます。

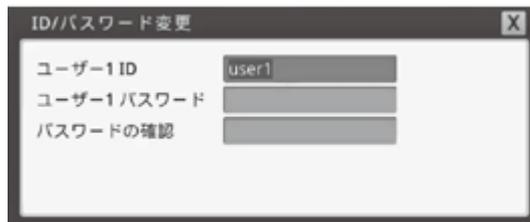
▼ ボタンでユーザー一覧を表示し選択します。

選択したユーザーの権限が表示されます。

チェックが入っている項目に権限があります。

ID & パスワードの変更

ユーザー ID は最大 20 文字、パスワードは 8 文字以内で変更可能です (パスワードは数字のみ)。
admin (管理者) はパスワードは変更可能ですが、ID は変更できません。



ID & パスワードの変更ボタンを選択すると上図のように表示されます。

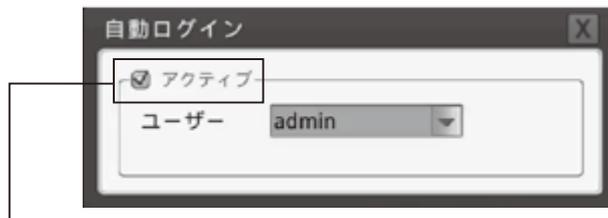


変更したい項目を選択すると上図のようにキーボードが表示されますので入力します。

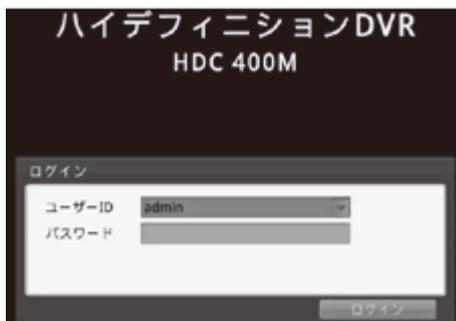
入力が終わったら「エンター」ボタンを選択します。

自動ログイン

初期設定は admin が選択されています。変更する場合はこのボタンを選択し、ユーザーを変更します。



アクティブの を外すと DVR の電源投入時に自動ログインされなくなります。DVR 起動時に下図のようになり、パスワードを入力してログインしなければ画面が立ち上がりませんのでご注意ください。



2-1-4 ユーティリティ

(1) システム



「DVR 名称」：DVR の名前を変更できます。最大 20 文字で英数のみの入力可能です。

「言語」：DVR の言語を設定します。

「情報」：DVR システム情報が表示されます。F/W バージョンや現在の HDD 空き容量などが表示されます。

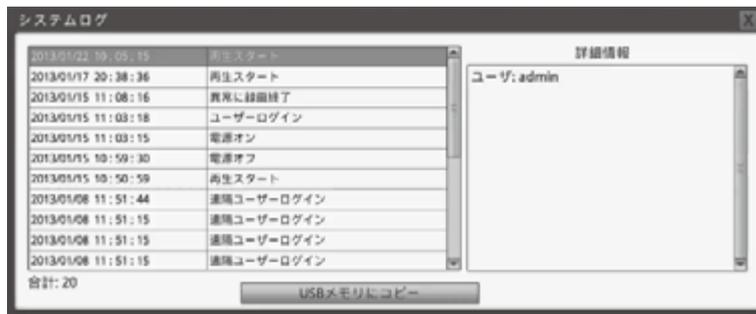
システム情報	
ファームウェアバージョン	4.0.7
ハードウェアバージョン	1.0
シリアル番号	T70112907489
MACアドレス	00:30:a1:03:9d:68
カメラタイプ	1080p30
HDD総容量	1853.2 GB
HDDの空き容量	729.0 GB
録画可能時間	HDDオーバーライトモード

「録画状態」：現在の録画設定状況が確認できます。



	解像度	録画モード	FPS	画質	ビデオ	オーディオ
Cam1	1080P 30Hz	連続	8	Q7	3024 Kbps	0 Kbps
Cam2	1080P 30Hz	連続	8	Q7	3048 Kbps	0 Kbps
Cam3	1080P 30Hz	連続	7	Q7	2904 Kbps	0 Kbps
Cam4	ビデオなし	連続	7		0 Kbps	0 Kbps

「ログ」：DVR本体のシステムログが表示されます。



日時	内容
2013/01/22 10:05:15	再起スタート
2013/01/17 20:28:36	再生スタート
2013/01/15 11:08:16	異常に録画終了
2013/01/15 11:03:18	ユーザーログイン
2013/01/15 11:03:15	電源オン
2013/01/15 10:59:30	電源オフ
2013/01/15 10:50:59	再生スタート
2013/01/08 11:51:44	遠隔ユーザーログイン
2013/01/08 11:51:15	遠隔ユーザーログイン
2013/01/08 11:51:15	遠隔ユーザーログイン
2013/01/08 11:51:15	遠隔ユーザーログイン

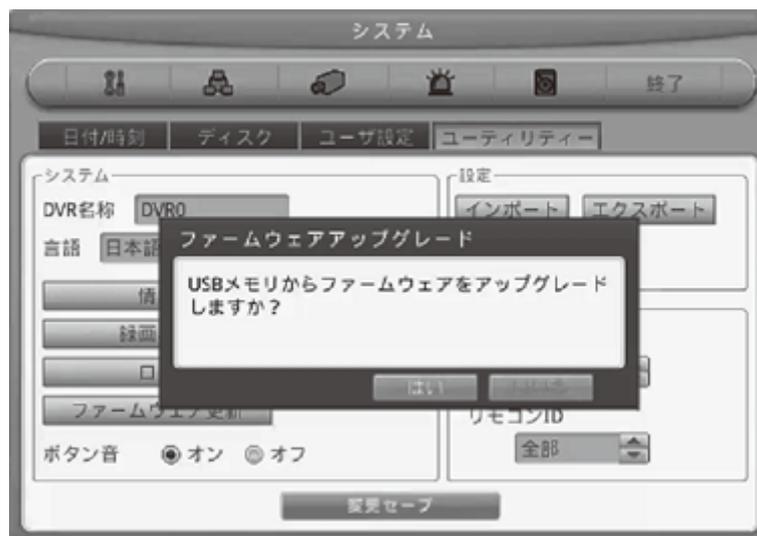
合計: 20

詳細情報
ユーザ: admin

USBメモリにコピー

本体にUSBメモリーを差し、「USBメモリにコピー」ボタンを選択するとデータとして保存できます。

「ファームウェア更新」：USBメモリーよりファームウェアをアップデートすることができます。



- ①ファームウェアが入っているUSBを差し込みます。
- ②「ファームウェア更新」ボタンを選択すると上図のようになります。
- ③アップデートする場合は、「はい」を選択します。
- ④自動的に再起動しますので、そのままお待ちください。
正常に起動したらアップデート成功です。

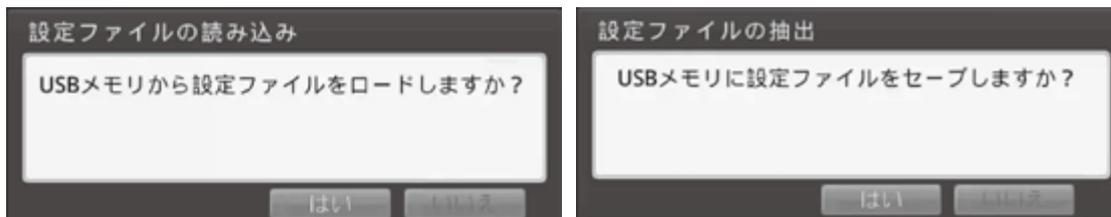
※ファームウェアアップデート中は電源を絶対に切らないでください。

「ボタン音」：本体タッチパネルボタン音のオン・オフを選択します。

(2) 設定

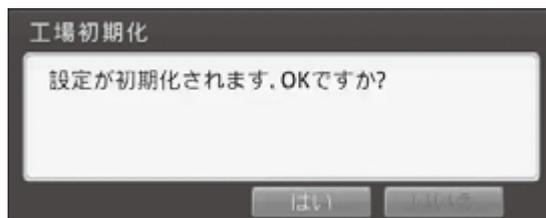
「インポート」：DVRの設定をUSBメモリーから読み込みます。

「エクスポート」：DVRの設定をUSBメモリーに保存します。



※ネットワーク設定は保存できませんのでご注意ください。

「工場初期化」：設定を工場出荷時に変更します。



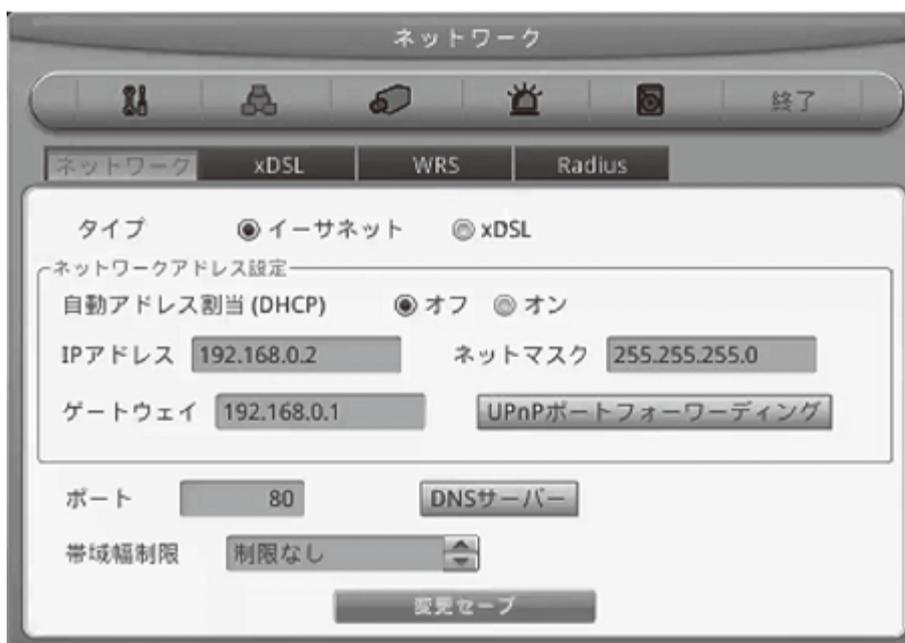
(3) コントローラ

DVR キーボード ID：キーボードにより DVR すべての機能を使用する場合、キーボードのアドレスを設定します。

リモコン ID：リモコンの ID を設定できます。最大 16 個のリモコン ID を設定することができ、1 つのリモコンで最大 16 台の DVR を操作することができます。

2-2 ネットワーク

2-2-1 ネットワーク



タイプで [イーサネット] を選択し、自動接続 (DHCP) で [未使用] を選択します。その後、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーを入力します。

.....

2-2-2 WRS (Webgate Dynamic IP Registration Server)



※ WRS は、Webgate 社が用意した DDNS サービスです。サービスの登録などについては第4章の WNS (Webgate Naming Service) 設定手順 (P.81) をご確認ください。

間隔：DDNS 更新間隔を1分から24時間の間で設定できます。[オフ]を選択した時はDDNSは更新されません。

URL：WRS サーバーの URL です。特別な理由がない限り、初期値を利用してください。

グループ：サイトのグループ ID を入力します。

グループは、サイトのグループ化するために利用します。

ほかのユーザーと異なるグループ名を利用することを推奨します。



状態表示が【未登録状態】と表示されると正常に設定が完了していませんので、ルーターなどの設定や、[間隔]の設定がオフになっていないかを確認してください。

状態 登録されていません

日付/時間が表示されOK表示(下図)が出ていれば正常に登録が完了しています。

2013/01/22 13:15:02 OK

2-3 デバイス

DVRと接続された各カメラの設定を行います。

2-3-1 カメラ



チャンネル番号：チャンネル番号を変更する場合は ▼ ボタンでチャンネル番号を選択します。

使用：通常はチェックします。チェックを外しますと画面表示・録画ができなくなりますのでご注意ください。チェックを外す前に、録画設定のプログラム変更でチェックを外す予定のカメラ録画のチェックボックスを外してください。

名称：カメラ名称を変更できます（英数のみの入力です）。

ここを選択すると、右図のようにキーボードが表示されます。

入力解像度：カメラの入力解像度が表示されます。

PTZカメラをDVRから制御する場合に設定します。



削除ボタン

PTZ接続を行う場合

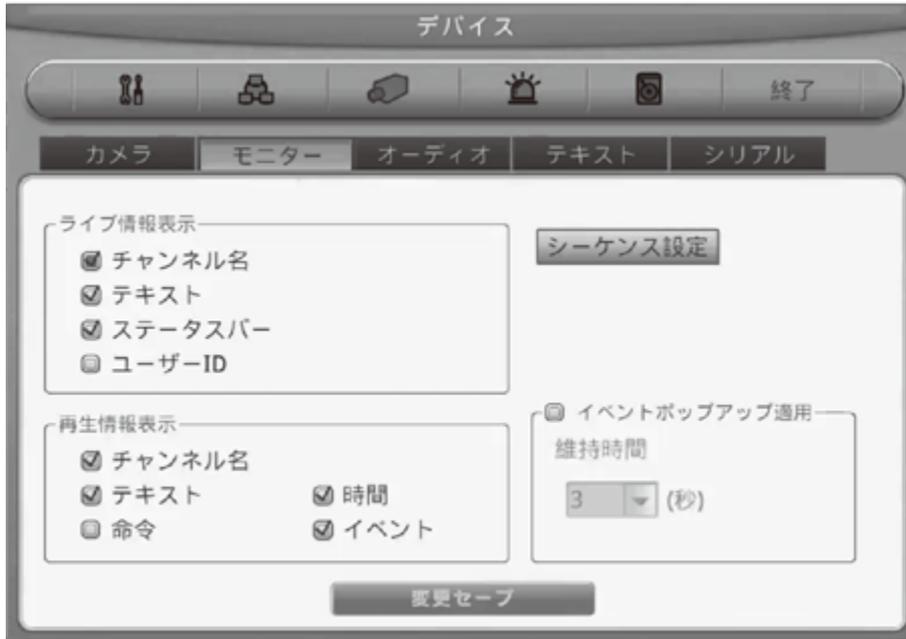
PTZポートをCOM2RS485を選択します。
PTZアドレス（カメラID）を設定します。



続きは2-3-5 シリアル (P.31) を
ご参照ください。

2-3-2 モニター

DVR モニターの表示設定を行います。



ライブ情報表示：ライブ画面に表示する項目にチェックを入れます。

再生情報表示：再生画面に表示する項目にチェックを入れます。

イベントポップアップ適用：特定のCHにモーションやセンサー入力が発生した場合、そのCHが単画面表示されます。

「シーケンス設定」：カメラシーケンスの設定をします。

設定する場合は「シーケンス設定」ボタンを選択します。



シーケンス回転：最大で16の連続モード設定可能です。

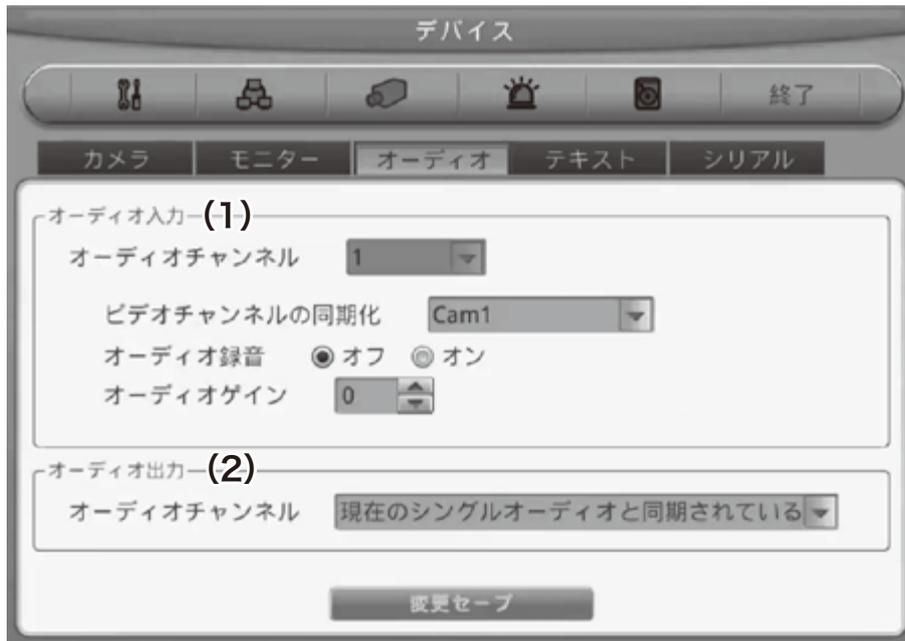
シーケンス時間：シーケンス時間 (切り替わり時間) は5～60秒の間で設定が可能です。

イベントポップアップ後復帰：イベントポップアップ設定をした場合、継続時間後にシーケンスを継続させるか、終了するかの設定です。

画面切替の順番や切替時間などを設定します。

2-3-3 オーディオ

DVRの音声チャンネル・録音などの設定を行います。



(1) オーディオ入力

オーディオチャンネル：音声入力チャンネルを選択します。▼ ボタンで選択します。

ビデオチャンネルの同期化：録音する音声入力かどの映像チャンネルとの同期を設定します。

オーディオ録音：音声録音をする場合は「オン」、しない場合は「オフ」を選択します。

オーディオゲイン：音声の音量を設定します。-7～8の間で選択します。

(2) オーディオ出力

オーディオチャンネル：ライブ監視画面において音声出力させたいチャンネルを選択します。

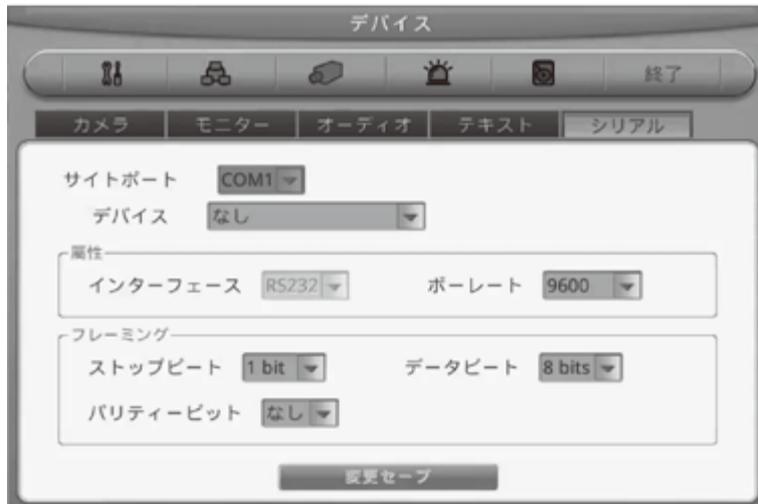
2-3-4 テキスト

テキスト入力の外部機器がある場合に設定を行います。



2-3-5 シリアル

DVRは2つ (RS-232C, RS-485) のシリアルポートを持っています。



サイトポート：ポートを選択します。COM1はRS-232C、COM2はRS-485になります。

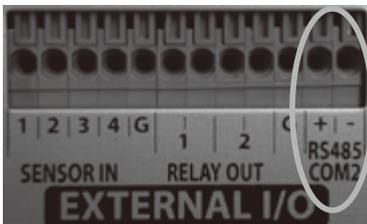
デバイス：接続している機器を選択します。

インターフェース：サイトポートで選択したものに連動します。COM1はRS232、COM2はRS485になります。

ボーレート：1200～115200の間での選択設定になります。

■PTZカメラを接続する場合

DVR本体の背面のCom2/3にカメラ制御線を接続します。



サイトポートをCOM2に設定し、デバイスでカメラプロトコルを選択します。

ボーレートをPTZカメラと合わせます。



※デバイスに登録されているカメラプロトコルはカメラプロトコル搭載モデル (P.88) に一覧表がありますので、ご確認ください。

2-4 イベント

2-4-1 イベント



※イベント使用のチェックを外すと、センサー・モーションなどの設定をしても動作しませんのでご注意ください。

(1) イベント使用

スケジュール：[常にイベント監視]、[スケジュール] から選択します。[スケジュール] を選択すると「スケジュール設定」ボタンを選択しスケジュールを登録します。

「スケジュール設定」ボタンを選択すると下図のように表示されます。

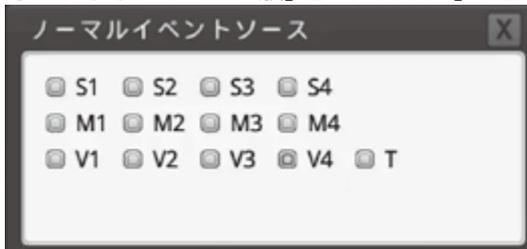


スケジュール追加：時間と曜日を選択し「追加」ボタンを選択すると緑色に変化します。

スケジュール除去：「削除」ボタンや「初期化」ボタンで選択したスケジュールをクリアします。

(2) イベント連動

イベントソース：「一般」と「システム」の2種類があります。



ノーマルイベント・システムイベントソースともに チェックで設定がONになります。

ノーマルイベントソース

S：センサー V：ビデオロス

M：モーション T：テキスト

実行時間：選択したイベントアクションにより選択できる時間が変わります。

(3) イベントアクション

イベントアクション：リレー 1、リレー 2、ブザー、電子メール、FTP、ツイッターから選択します。



リレー 1、2：イベント発生時に設定した時間だけリレー出力します。

ブザー：イベント発生時に設定した時間だけ本体ブザーを通して通知します。

電子メール：イベント発生時にメールでイベント発生を通知します。

FTP：イベント発生時のチャンネルの映像をイメージでFTPサーバーに転送します。

ツイッター：イベント発生時のチャンネルのイベント情報や映像を送信する機能です。

2-4-2 モーション

モーション機能は画像の変化によって反応するセンサーの一部です。



ビデオチャンネル：各チャンネルごとに設定をします。設定したいチャンネルを選択します。

モーション検知の チェックを外すとモーション検知が動作しませんのでご注意ください。

感度：モーションセンサー感度が最低、1～10、最高から選択設定します。初期値は5になります。

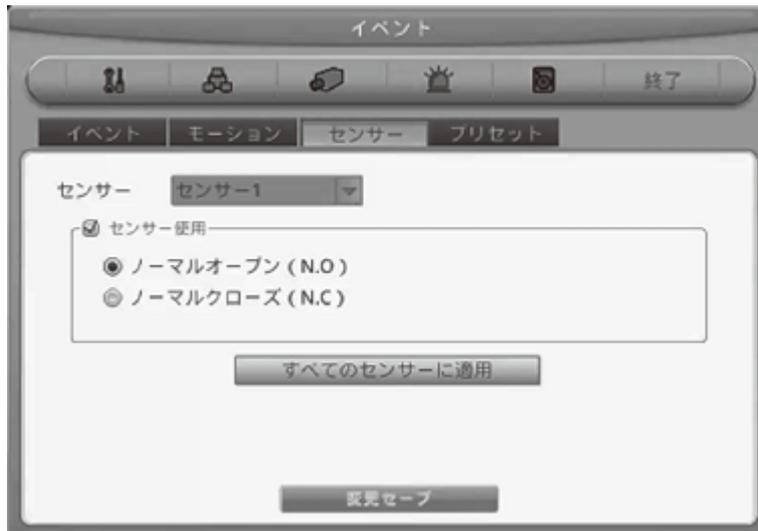
「領域変更」：選択したビデオチャンネルの画像上に20×12で領域設定します。領域を選択した部分は緑色に変わります。初期設定は全領域選択されています。



「すべてのチャンネルに適用」：このボタンは領域変更をした1つのチャンネルの設定を全チャンネルに適応させます。

2-4-3 センサー

センサー設定とその種類の設定を行います。



すべてのセンサーで設定が同じ場合は、「すべてのセンサーに適用」ボタンを押します。各センサーごとに設定する場合はS1,S2,S3,S4をそれぞれ選択します。

センサータイプは[ノーマルオープン (N.O)] [ノーマルクローズ (N.C)] のどちらかを選択します。センサーを使用しない場合は[センサー使用]のチェックボックスを外してください。

2-4-4 プリセット

PTZ機能において、本機DVRとPTZカメラがDVR上で制御できるようになっている場合のみの設定です。センサーまたはモーション検出した時、PTZカメラの指定したプリセット番号へカメラを制御することができます。



チャンネル：カメラを選択します。

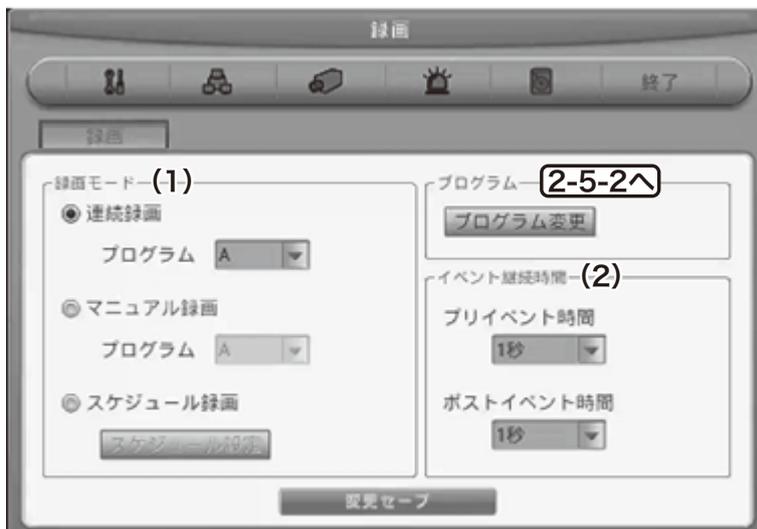
それぞれのイベントごとにカメラのプリセットを設定：

各センサーによってプリセットを選択します。1～16の間でプリセット番号を指定します。

2-5 録画

ここでは録画の設定をします。録画モードは連続録画・マニュアル録画・スケジュール録画の3種類があります。

2-5-1 録画



(1) 録画モード：連続録画、マニュアル録画、スケジュール録画この3つから選択します。

連続録画：選択したプログラムによって録画します。

マニュアル録画：選択したプログラムによって録画しますが、本体フロントパネルの【RECORD】ボタンを押し、【REC】ランプが点灯している状態で録画しています。

スケジュール録画：スケジュール設定により録画ができます。

連続録画・マニュアル録画は選択したプログラムによって録画設定が決まります。2-5-2 プログラム (P.38) をご確認ください。

スケジュール録画の場合、「スケジュール設定」を行います。

時間曜日ごとにどのプログラム(A～I)を設定するかを表により設定します。



プログラムを選択していない場合は、録画できませんので注意してください。

プログラム設定についての詳細は、2-5-2 プログラム (P.38) をご確認ください。

プログラム：録画プログラムを指定 (A～I)

時間：時間範囲を指定します。

「追加」：選択したプログラムを登録します。

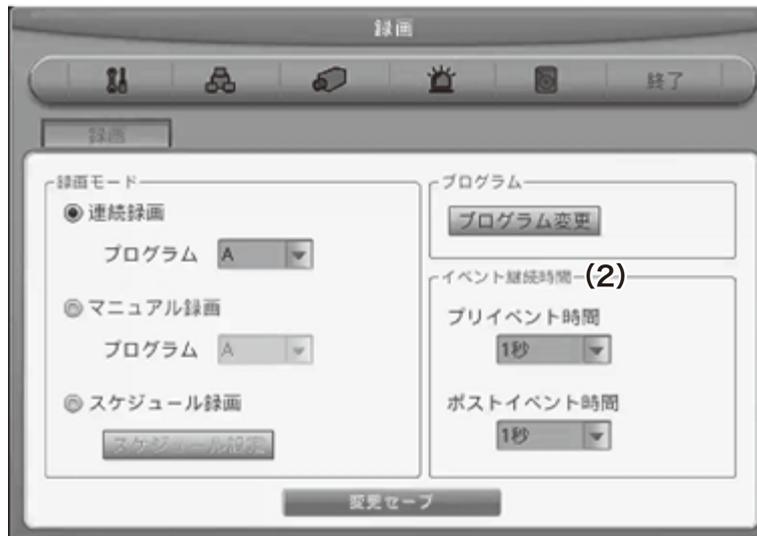
【除去】：選択した時間範囲のスケジュールを削除します。

【初期化】：全スケジュールを削除します。

(2) イベント継続時間

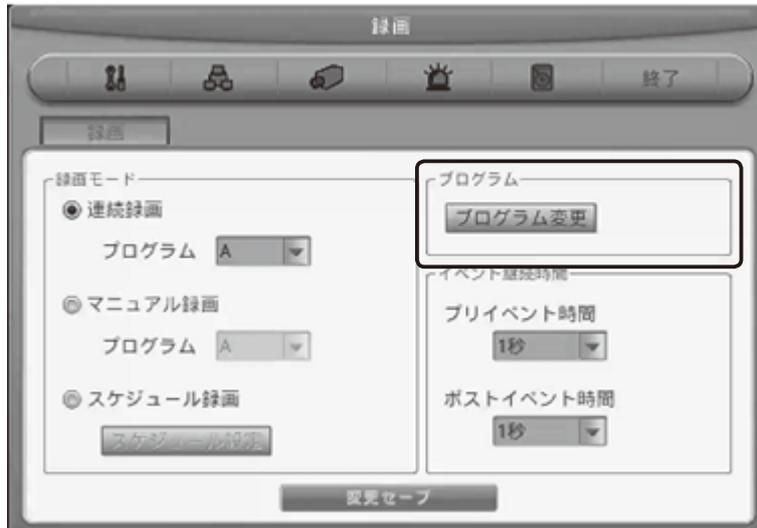
プリイベント時間：イベント発生時の1～5秒前から録画を開始できます。

ポストイベント時間：イベント終了後、どれくらい録画するかを設定します。1秒～30分の範囲で設定できます。イベントが発生した時点から設定した時間だけ記録を行います。



2-5-2 プログラム

「プログラムの変更」を押し、通常時の録画設定とイベント時の録画設定をします。



プログラムはA～Iまでの9つ設定ができます。

カメラごとに録画フレーム・画質を設定します。録画をしない場合は、項目の「録画」のチェックボックスを外します。このチェックを外すと各チャンネルに対する最大フレーム数に変更になります。

※カメラ入力映像1080p30の場合、録画スピードは30fpsになり、各チャンネルに対しては最大7または8fpsになります。録画のチェックボックスを外すと各チャンネル当たりのフレーム数が変化します。

① ノーマル録画 (通常時の録画設定)

FPS：録画フレーム数を設定します。

画質：録画画質を設定します。低・2～6・高まであり、最高画質は高になります。

② イベント録画 (イベント時の録画設定)

FPS：録画フレーム数を設定します。

画質：録画画質を設定します。低・2～6・高まであり、最高画質は高になります。

通常時・イベントともに録画フレームを0にすると録画されませんのでご注意ください。

3 再生

3-1 再生モード

3-1-1 監視画面上での再生

ライブ画面上で本体のフロントパネルの  ボタンを押すと、現在の約1分前の映像が再生されます。再生している状態で本体正面の左右ボタンを押すと倍速再生 (逆) になります。最大で64倍速になります。

3-1-2 再生機能 (フロントパネルボタン)

	等倍再生 (1x) 再生・等倍逆再生 (1x) 再生ボタン。
	再生中の時早送りボタン。 ボタンを押すごとに 2x,4x,8x,16x,32x,64x,1/2x とスピードが変わります。
	逆早送りボタン。 ボタンを押すごとに 2x,4x,8x,16x,32x,64x,1/2x とスピードが変わります。
	一時停止をします。
	停止ボタン。ライブ映像に戻ります。
	一時停止中に左右ボタンを押すとコマ送り (逆) になります。

4 検索

フロントパネルの【FUNC】ボタンもしくはマウスの右クリックで下図のメインメニューが表示されます。

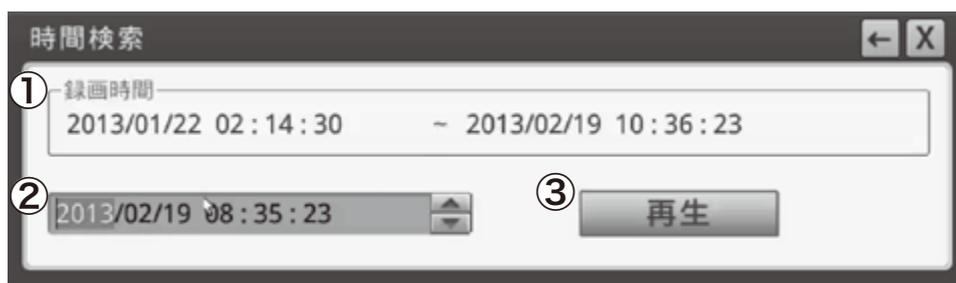


ここで [検索] を選択します。検索方法は以下の 3 つで、「時間」「カレンダー」「イベント」があります。
※フロントパネルの【SEARCH】で、下図のように表示されます。

4-1 時間検索



「時間」ボタンを選択すると下図のように表示されます。



①録画時間

録画データの一番古い日付から録画データの一番新しい日付が表示されます。検索時間は、この間で設定してください。

②検索時間を選択し、変更したい日付 / 時間にカーソル (オレンジ色) をあわせ、マウスのトラックボールで数値を設定します。フロントパネル・リモコンからは、上下のボタンで数値を変更します。

③検索時間を設定したら「再生」ボタンを選択すると、指定した時間から再生されます。

4-2 カレンダー検索

カレンダー検索を選択すると下図のようにカレンダーと時間軸が表示されます。
黄色バーのある日付は録画データがある印です。



カレンダーで日付を選択します。データがある日付には黄色いバーが表示されます。
選択した日付にはオレンジで表示されます。

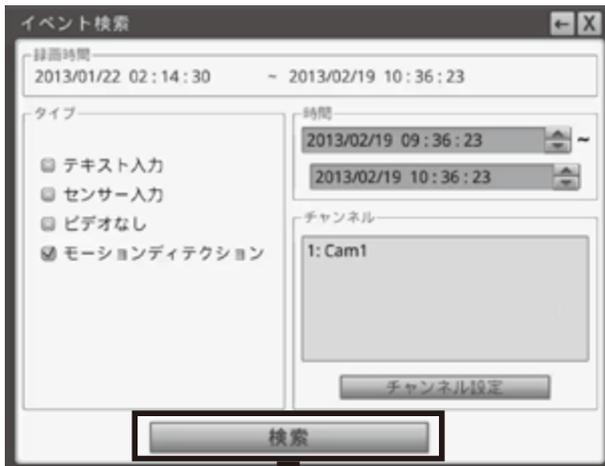
日付を選ぶとその日付の時間が下に表示されます。

時間表から検索したい時間をクリックします。
1時間のブロック表示で録画の種類によって色分けがされます。
この表の下に選択した日時が表示されますので、その時間帯でよければ「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

※カレンダー検索では分・秒の指定はできません。
(例) 12時を選択した場合は、12:00からの再生です。

4-3 イベント検索

イベント検索を選択すると下図のようになります。(イベント録画していない場合は、使用しません)



録画時間：録画の一番古いデータから録画の一番新しいデータです。

タイプ：イベントの種類を選択します。

時間：検索する時間の範囲を指定します。

チャンネル：検索するチャンネルを指定します。

「検索」ボタンを選択すると検索結果が表示されます。



イベント検索結果のリストを選択し、「再生」ボタンを選択すると再生されます。

5 コピー（バックアップ）

フロントパネルの【FUNC】ボタンもしくはマウスの右クリックで下図のメニューが表示されます。



ここで「コピー」を選択します。

選択すると下図のように表示されます。



タイプ：EXE、AVIこれらの2つから選択します。

チャンネル：コピーしたいカメラ番号を選択します。

コピー可能範囲：この範囲の時間がコピー選択できます。

開始：コピー開始時間を選択します。

終了：コピー終了時間を選択します。

推測されるファイルサイズ：選択した時間のおおよそのデータ量が表示されます。

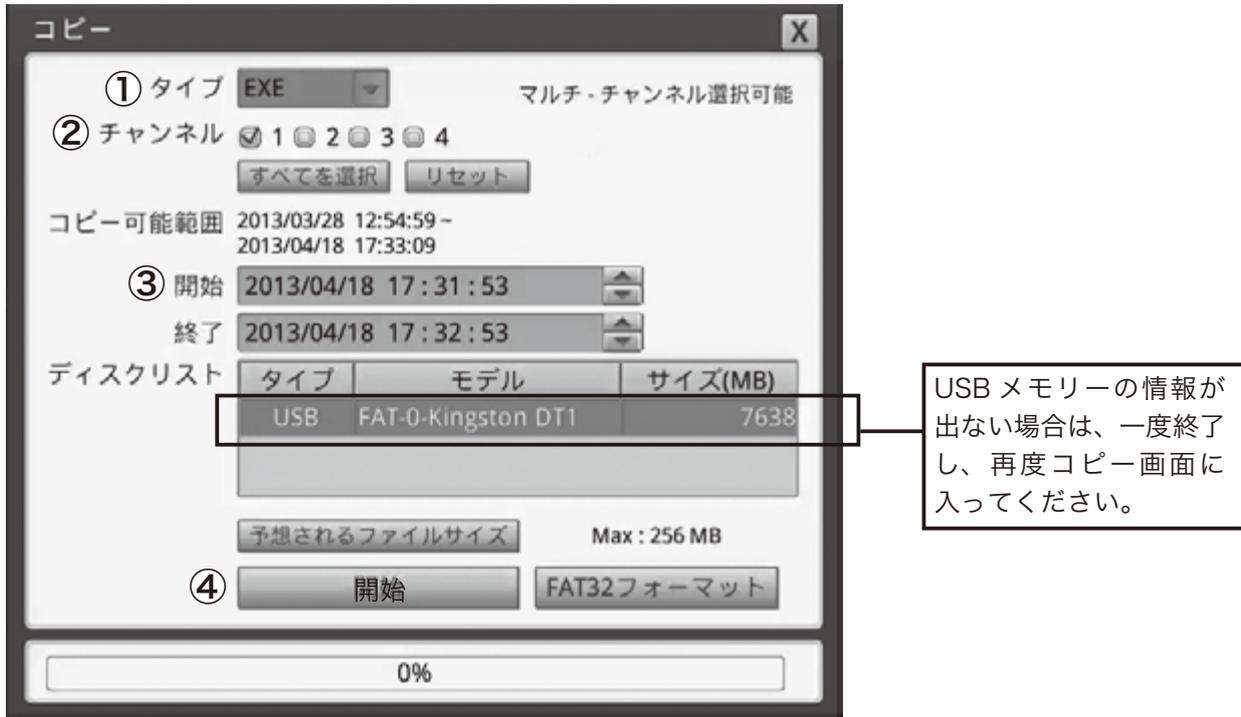
「開始」：コピーを開始します。

「FAT32フォーマット」：USBメモリーがフォーマットされていない場合に使用します。

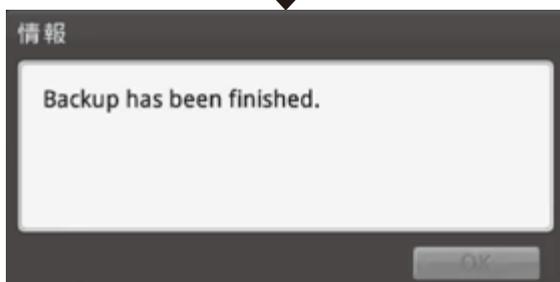
※フォーマットするとデータが削除されますのでご注意ください。

5-2 EXE コピー

フロントパネルの USB 端子に USB メモリーを差し込んでください。
※ USB メモリーの認識には少し時間がかかります。



- ①タイプをEXEにします。
 - ②コピーしたいチャンネルを選択します。
 - ③開始時間と終了時間を設定します。
 - ④「開始」ボタンを選択するとコピー開始です。
メディアの空き容量がない場合は「FAT32 フォーマット」ボタンを選択するとフォーマットを開始します。
- ※ FAT32 フォーマットをするとメディアのデータが消去されますのでご注意ください。



ファイルコピーが完了したら左図のように表示が出ます。
「OK」ボタンを押すと終了です。

USB メモリーはコピーが終了するまで抜かないでください。

5-2 AVI コピー

フロントパネルの USB 端子に USB メモリーを差し込んでください。

※ USB メモリーの認識には少し時間がかかります。



①タイプをAVIにします。

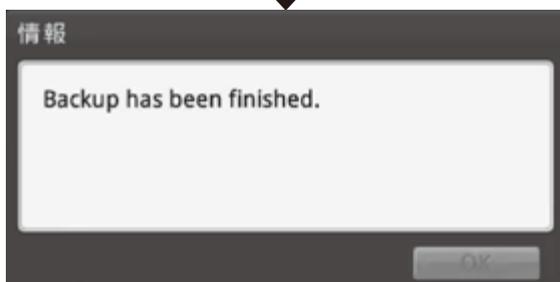
②チャンネルは指定した1チャンネルのみとなります。

③開始時間と終了時間を設定します。

④「スタート」ボタンを選択するとコピー開始です。

メディアの空き容量がない場合は「FAT32 フォーマット」ボタンを選択するとフォーマットを開始します。

※FAT32 フォーマットをするとメディアのデータが消去されますのでご注意ください。



ファイルコピーが完了したら左図のように表示が出ます。「OK」ボタンを押すと終了です。

USB メモリーはコピーが終了するまで抜かないでください。

5-3 コピー再生

5-3-1 EXEでのコピー再生

USBメモリーをPCに接続し、内容を確認します。
メディアを開くと下図のようになります。



USB内にフォルダがあります。
Bが名前の先頭にあるフォルダがEXEコピーしたもの
Cが名前の先頭にあるフォルダがAVIコピーしたものになります。

開く



フォルダを開くと上図のようになります。EXEコピー内容
アプリケーションを開くとminiplayerが開きデータが再生されます。



miniplayer 上では分割や単画面など選択できます。

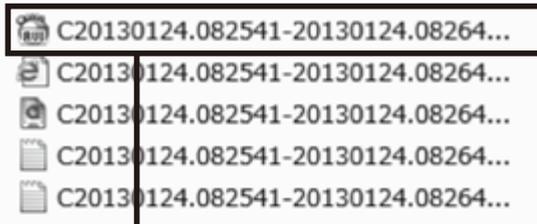
5-3-2 AVIでのコピー再生

USB メモリーを PC に接続し、内容を確認します。
メディアを開くと下図のようになります。

C20130124.082541-20130124.082641_CH1

USB 内にフォルダがあります。C が名前の先頭にあるフォルダが
AVI コピーしたものになります。

AVI でのコピー再生はチャンネル限定の再生です。



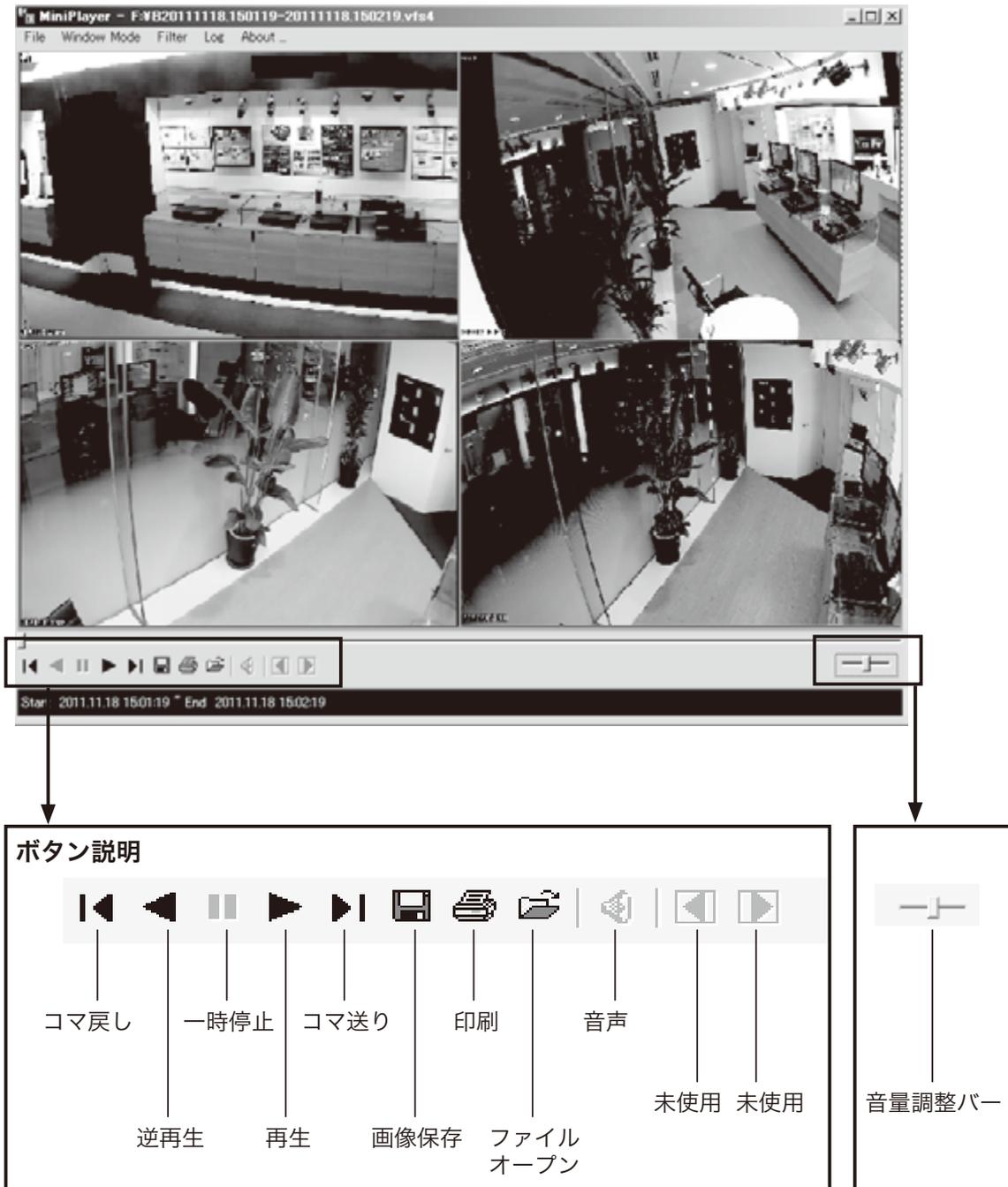
フォルダを開くと上図のようになります。

AVI コピーファイルを選択すると Windows メディア
プレーヤーなどが開きデータが再生されます。(下図)



5-4 miniplayer 説明

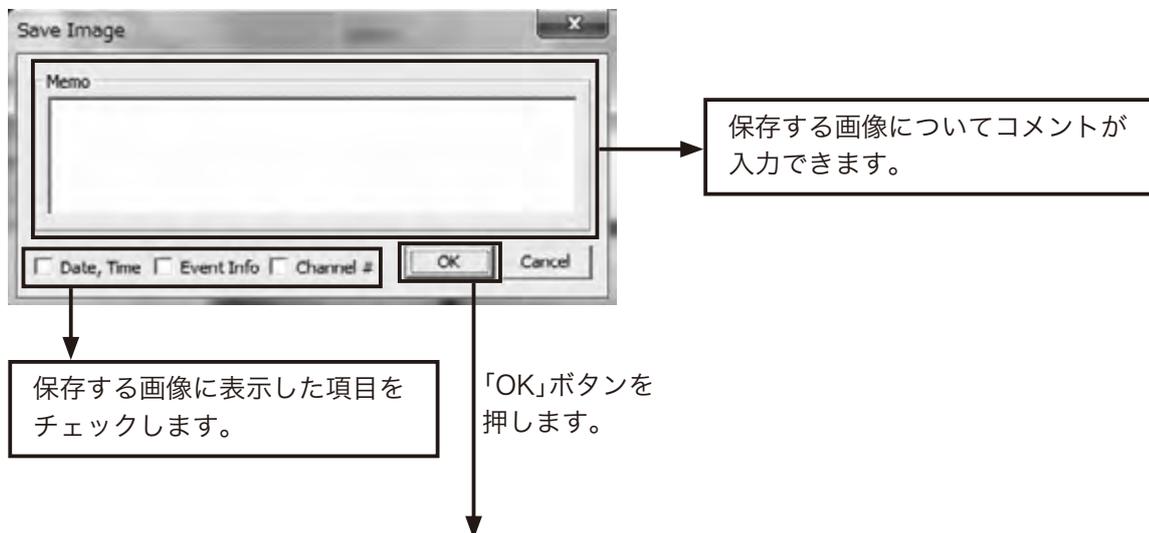
miniplayer 画面





画像保存ボタン

miniplayer 上の画像を保存する場合に使用します。
選択した画像が保存できます。
このボタンを押すと下図のボックスが表示されます。



画像を保存する場所と名前を入力します。
「保存」ボタンを選択すると画像が保存されます。
画像保存の形式はビットマップのみとなります。



印刷ボタン

miniplayer 上の画像を印刷する場合に使用します
選択した画像が印刷できます。
このボタンを押すと下図のボックスが表示されます。



印刷する画像についてコメントが
入力できます。

印刷イメージ



「OK」ボタンを選択すると、
印刷のボックスが表示されま
すので印刷します。

カメラ番号・録画日時などが
表示されます。

6 Webビューワー

Webブラウザを通してHDC400Mに接続し、ライブ監視・検索などが行えます。

6-1 PC推奨環境について

	動作環境	推奨動作環境
CPU	Core2Duo/2.0GHz以上	Quad Core/2.6GHz以上
メインメモリー	2GB以上	4GB以上
ビデオメモリー	128MB以上	512MB以上
ディスプレイ	1920×1080 (32ビットカラー) 以上	
HDD	80GB以上	
OS	Windows XPプロフェッショナル (SP2) / Windows Vistaビジネス (SP1) 以上	
その他	DirectX9.0以上	

6-2 ログイン

接続したいDVRのIPアドレスを入力すると下図のようにログイン表示がされます。

USER IDと**PASSWORD**を入力して**LOGIN**をクリックします。

USER LOGIN

IP Surveillance system

USER ID Save ID

PASSWORD

ActiveX Java

LOGIN RESET

Your System Check !!

ActiveX for Internet Explorer 7.0 or the above.

Java Viewer for Safari 4.x and Firefox 3.x or the above

To download the latest Java applet, please visit <http://www.java.com>

参照

管理者 (admin) パスワードは【12345】です。

User1 ~ 9の初期パスワードは【11111】【22222】・・・【99999】となります。

ただしuser10のパスワードは【00000】となります。

Windows Internet Explorer 7.0以上でご使用ください。

ログインページで認証されると下図のようになります。接続したDVRのライブ映像が表示されます。

The screenshot shows a 'Web Viewer Monitor' interface. On the left, there are control panels for 'Channel' (a 4x8 grid of buttons numbered 1-32), 'Sensor' (a 4x8 grid of icons), 'Relay' (a 2x8 grid of icons), and 'Mic' (a 1x8 grid of icons). Below these is an 'Options' button. The main area displays four live camera feeds in a 2x2 grid. The top-left feed shows a reception desk, the top-right shows a store interior, the bottom-left shows a hallway with a plant, and the bottom-right shows another view of the store interior. At the bottom, there is a log table with columns for Time, Event, and Message.

Time	Event	Message
2012.02.07 09:41:39	2 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:36	2 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:32	2 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:28	2 On	CH2 - Motion Detected

インターネットエクスプローラの画面右下に下図のような表示があります。



6-3 モニター

The screenshot shows the 'Web Viewer Monitor' interface. At the top, there is a navigation bar with a search field (1) and a 'Go' button (7). Below this is a 'DVR0' control panel (3) containing a 'Channel' grid (1-32), 'Sensor' icons, 'Relay' icons, and 'Mic' icons. An 'Options' button (4) is located below the control panel. The main area displays four camera feeds in a 2x2 grid. At the bottom, there is an event log table (5).

Time	Event	Message
2012.02.07 09:41:59	2 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:36	2 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:32	2 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:28	2 On	CH2 - Motion Detected

6-3-1 ライブ画面

接続されているDVRのライブ画面が表示されます。指定した画面をダブルクリックすると単画面表示され、単画面表示でダブルクリックすると分割画面に切り替わります。



左図のように1つの画面をドラック&ドロップすると表示画面が入れ替わります。



ライブの画面上で右クリックすると上図のようなメニューが出ます。

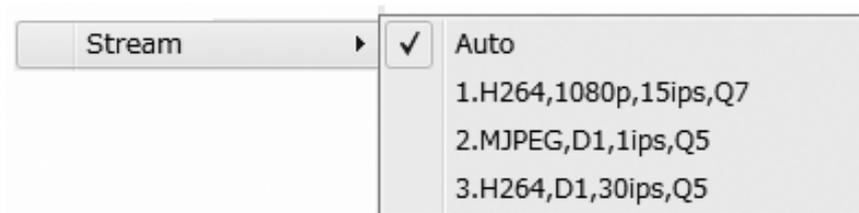
① **Caption**：カメラの画面表示を設定します。



チャンネルナンバー、名前、時間など がついている項目が表示されます。

② **Stream**：ライブ画面の解像度とフレーム数を調整します。

チェックしているところが現在のライブ表示になります。



変更したい場合は、その項目をクリックしてください。

※ネットワーク回線の影響で指定したフレームどおりに表示されないことがあります。

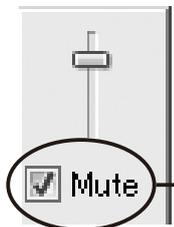
③ **REC Start**：選択したカメラの録画を開始します。録画を開始したチャンネルの画面に REC 表示されます。録画の秒数も表示されます。録画を停止するときは、再度画面上で右クリックし、[REC Stop] を選択します。

また、録画停止時に、録画データの保存場所を指定します。



④ **Save As** : 選択したチャンネルの静止画保存をします。
 bmp、JPEG の選択方法を選び、保存場所を指定します。

⑤ **Listen** : 選択したチャンネルの音声の設定です。



選択すると音声のボリュームスライダーが出てきますので調整します。

Mute にチェックがある場合は、消音状態です。
 チェックを外すとボリュームスライダーで音量の調整ができます。

6-3-2 分割ボタン



数字をクリックすると分割表示になります。

単画面、4分割、9分割、13分割、16分割、25分割、36分割になります。

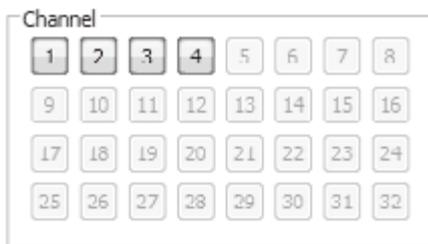
 このボタンはフルスクリーンボタンで、クリックするとチャンネルの映像だけが表示されます。
 もとの表示に戻る場合はキーボードの **[Esc]** ボタンを押してください。

6-3-3 Channel、Sensor、Relay、Mic

チャンネル表示

接続されている DVR のチャンネルです。

クリックするたびに ON/OFF が切り替わります。



ON 状態
 (ボタンが青く点灯します)



OFF 状態

センサー表示



センサー感知すると  このように変わります。

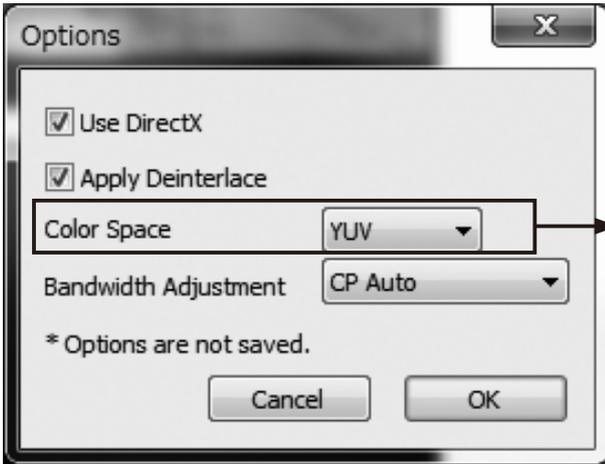
リレー表示



リレーが反応すると  このように変わります。

6-3-4 オプションボタン

Web ビューワーのオプションです。クリックすると下図のように表示されます。



ライブ映像が正常に表示できない場合は、Color Space を YUV → RGB に変更してみてください。

6-3-5 イベントデータ

DVR のイベント履歴が表示されます。

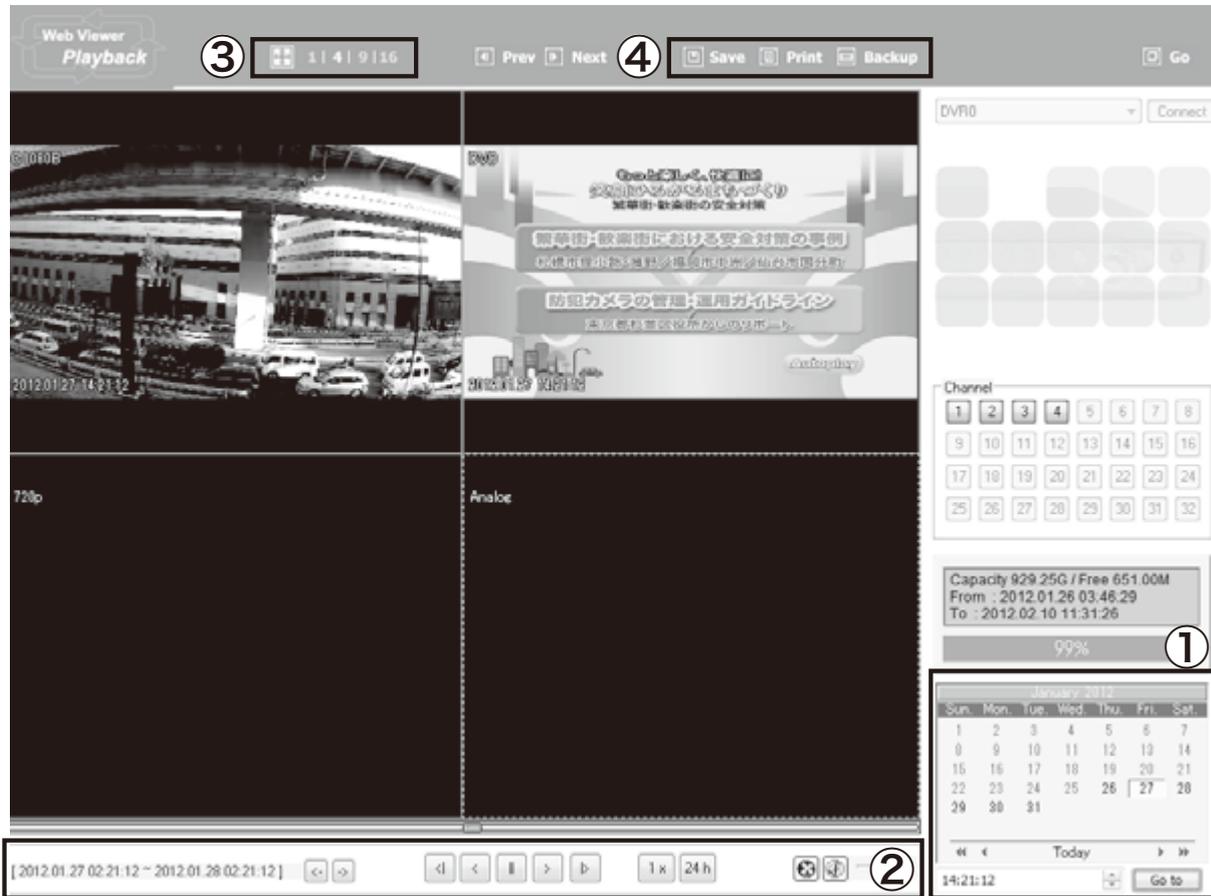
Time	Event	Message
2011.03.29 11:27:18	1 On	CH1 - Motion Detected
2011.03.29 11:27:18	3 On	CH3 - Motion Detected
2011.03.29 11:27:18	2 On	CH2 - Motion Detected
2011.03.29 11:27:18	4 On	CH4 - Motion Detected
2011.03.29 11:27:18	3 On	CH3 - Motion Detected

アイコン	機能
	モーションディテクション ON
	センサー入力
	リレー出力
	ビデオ未接続・ビデオ接続

7 再生

 をクリックすると下図のように表示されます。

接続されている DVR の検索画面になります。



① 再生したい日付をカレンダーから選択します。

January 2012						
Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

データがある日付が黒く表示されます。

見たい日付をクリックします。

変更したい時間 / 分 / 秒をマウスでクリックし青く反転させ  ボタンで変更します。

「Go to」ボタンをクリックすると指定した時間の再生が始まります。



次ページに続きます 



指定した時間の映像が上図のように表示されます。

② ボタンで再生・逆再生・早送りなど操作できます。

-  再生ボタン
-  一時停止ボタン
-  逆再生ボタン
-  コマ送りボタン
-  逆コマ送りボタン
-  再生スピードボタン (0.5x ~ 64x)
-  音声音量ボタン

③  1 | 4 | 9 | 16 画面分割ボタン



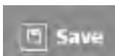
全画面ボタン

全画面から元の画面に戻す場合は、画面右下にマウスを移動させると、下図のようにメニューが出てきます。



X ボタンをクリックすると全画面が終了し、元の画面に戻ります。

④ その他のツール



Save 静止画の保存ボタンです。選択しているチャンネルを保存します。

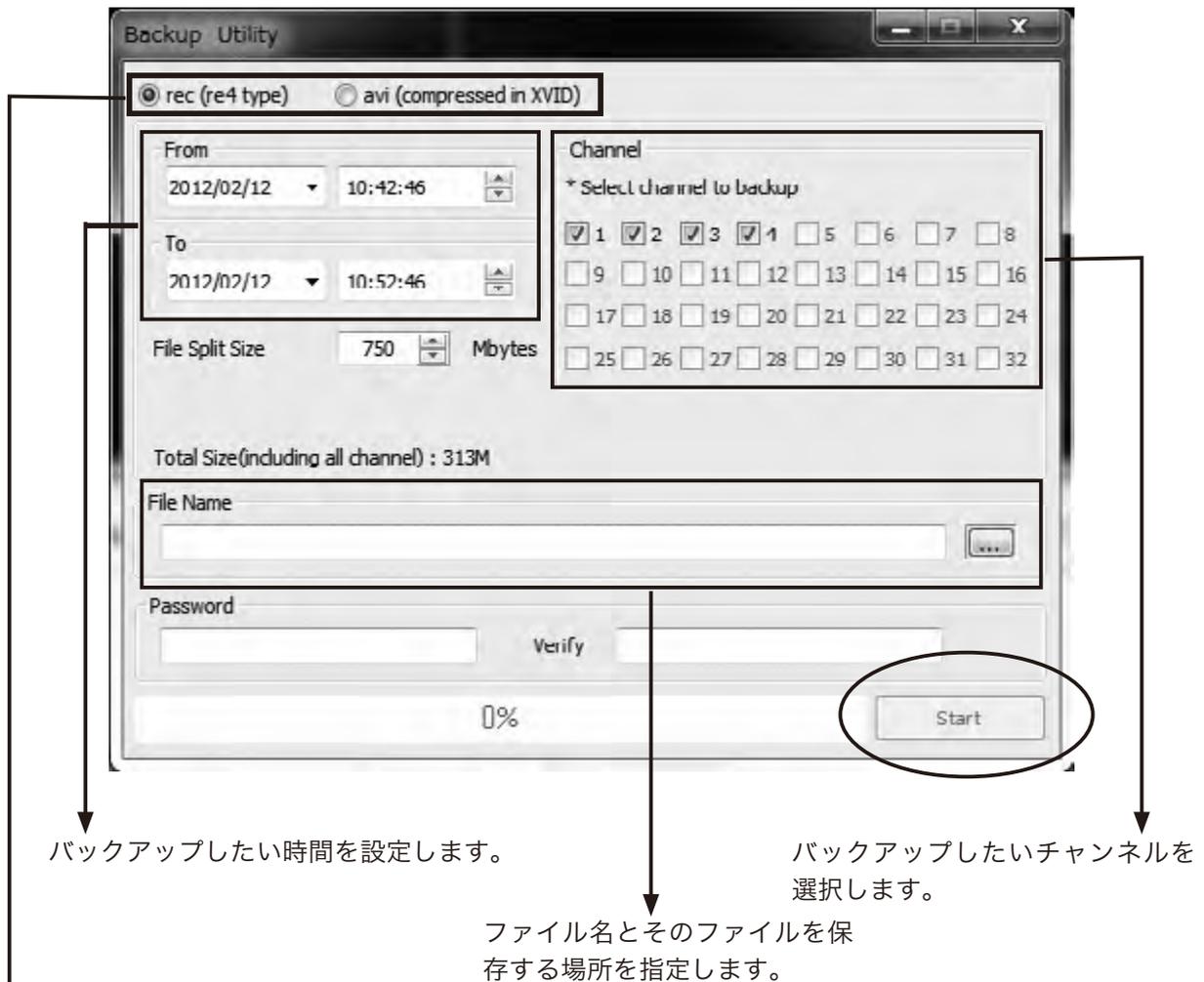


Print 画像印刷ボタンです。PC に接続されているプリンターから印刷できます。



Backup データのバックアップボタンです。
ボタンをクリックすると次ページのようなウィンドウが出ます。

.....



バックアップしたい時間を設定します。

バックアップしたいチャンネルを選択します。

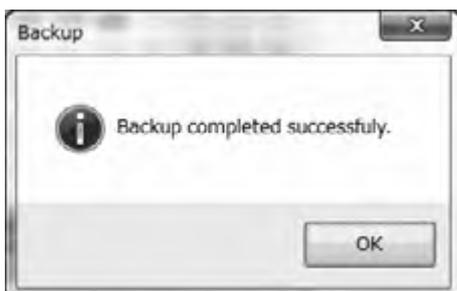
ファイル名とそのファイルを保存する場所を指定します。

バックアップの種類を選択します。

バックアップ方法が2種類あります。

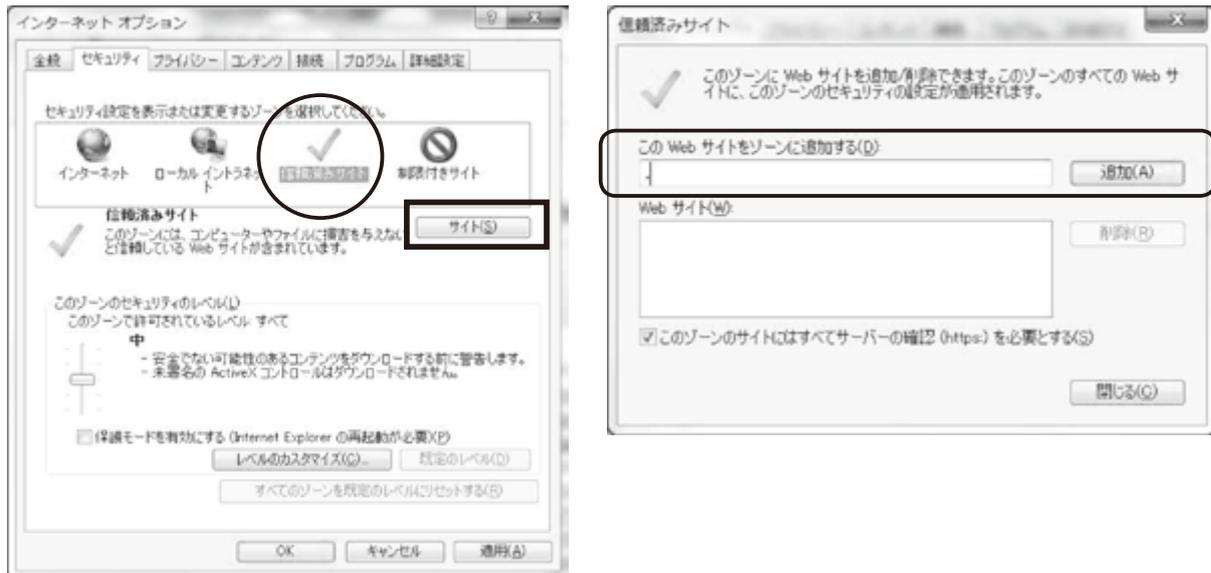
- ① rec (re4 type) はバックアップするチャンネルを自由に選択できます。バックアップしたデータを再生する場合は、本体付属CD内の Control Center Std のインストールが必要になります。
- ② avi (compressed in XVID) はバックアップするチャンネルは指定した1チャンネルのみとなります。再生する場合は、Windows メディアプレーヤーなどで再生できます。

すべて選択し「Start」ボタンをクリックするとバックアップが開始します。



バックアップが正常に終了すると上図の画面が表示されるため、「OK」ボタンをクリックします。

※指定した場所にファイルがない場合



インターネットオプションで信頼済みサイトを選択しアドレスを追加してください。

 このボタンをクリックすると検索画面からライブ画面に戻ります。

Web ビューワーを終了する場合は、「画面を閉じる」ボタンで終了します。

第 3 章 Control Center Std 取扱説明



1 製品概要

1-1 Control Center について

Control Center は、Webgate の DVR を最大 1000 台まで登録できる、統合管理ソフトです。このソフトを使うことにより、遠隔の DVR のライブ再生、録画検索、録画再生、録画データのバックアップおよび設定を行うことができます。このソフトでは、デュアルモニタ環境時、最大 128 台のカメラ映像を同時に表示することができます。

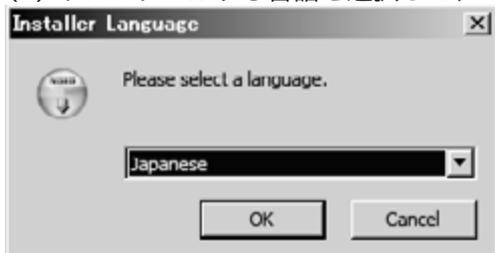
1-2 PC 推奨環境について

	動作環境	推奨動作環境
CPU	Core2Duo/2.0Ghz	Quad Core/2.6Ghz
メインメモリー	2GB	4GB
ビデオメモリー	128MB	512MB
ディスプレイ	1920×1080 (32ビットカラー) 以上	
ハードディスク	80GB 以上	
OS	Windows XP プロフェッショナル (SP2) / Windows Vista ビジネス (SP1) 以上	
他	DirectX 9.0 以上	

1-3 プログラムインストール

(1) DVR に付属の CD 内の、「Control Center Setup vX.XX.X.exe」をクリックします。
※インストールには、PC に対する管理者権限が必要です。

(2) インストールする言語を選択して、「OK」をクリックします。



(3) ライセンス契約書を確認うえ、「同意する (A)」ボタンをクリックします。



(4) インストールするコンポーネントを選んで「次へ (N)」ボタンをクリックします。



(5) インストール先を選んで「インストール」ボタンをクリックします。



(6) インストールのオプションを選んで「閉じる (C)」ボタンをクリックします。



(7) スタートプログラム内の [Digital Image World]-[Control Center] にソフトのアイコンが作成されます。

各アイコンの説明

アイコン	説明
 <p>Control Center Monitor</p>	<p>Control Center Monitor ライブ閲覧する際に利用します。</p>
 <p>Control Center Playback</p>	<p>Control Center Playback 録画している映像を閲覧する際に利用します。</p>
 <p>Control Center Configuration Tool</p>	<p>Control Center Configuration Tools 遠隔で DVR の設定変更をする際に利用します。</p>
 <p>Tools</p>	<p>Tools DVR の特別な使い方をする場合に利用するソフト類が入っているフォルダーです。</p>
 <p>Uninstall</p>	<p>Uninstall Control Center Std をパソコンからアンインストールする場合に、利用します。</p>

1-4 クイックスタート

(1) 起動と終了

Control Center Monitor のアイコンをクリックすると、最初にログイン画面が表示されます。ログインするために、ユーザー名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。(初期値 ユーザー名：Administrator パスワード：admin)

終了するときは、メニューバーから[ファイル(F)]-[終了(X)]をクリックするか、プログラムウィンドウ右上の  ボタンをクリックして終了します。



(2) DVR の登録

ソフトを利用するためには、まず閲覧したい DVR をソフトに登録する必要があります。(初回のみ)

- ①メニューバーの[アクション(A)]-[Add]をクリックします。



- ②ユニット登録画面で以下の順序に従い、サーバー情報を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

- i .以下のDVRアドレス情報を入力して、「Find」ボタンをクリックします。

固定IPアドレス/ダイナミックIPアドレス：「固定IPアドレス」を選択します。

アドレス：DVRのアドレスを入力します。(WRSを利用している場合は、WRSのアドレスを入力します。)

ポート（「ポート」ボタンをクリック）：DVRのポート番号を入力します。(初期値 80)

- ii .以下のDVRユーザー情報を入力して「OK」ボタンをクリックします。

ユーザー ID：DVRに登録してあるユーザー IDを入力します。

パスワード：上記ユーザー IDのパスワードを入力します。



(初期値 ユーザー名：Admin パスワード：12345)

次ページに続きます ➡

③ DVR へ接続

接続したい DVR を展開し、表示するカメラをクリックします。



2 Control Center Monitor

Control Center Monitor は、ライブ映像を閲覧するソフトです。

2-1 画面



2-1-1 ツールバー

ボタン	説明
	サイトツリーを隠す
	イベントビューを隠す
	録画再生プログラム(Control Center Playback)を実行
	構成ツール(Control Center Configuration tool)を実行
	イベント検索ユーティリティを実行
	オプションメニューを表示
	ユニット/ビューセット/マップ登録*
	ユニット/ビューセット/マップ編集*
	ユニット/ビューセット/マップ削除*
	ビューセットの保存*
	サイトツリーの更新
	登録済みのカメラをシーケンス表示
	アラーム時の画面ポップアップ設定
	表示画面のフレームレートを変更
	表示中のモニター画面やマップを閉じる

	ソフトのバージョンを表示
	表示中のモニター画面やマップを閉じる
	メインビューをフルスクリーン表示
	画面分割(1/4/ 9/13/16/25/36/49/64)
	モニター画面の解像度を変更
	表示中のモニター画面のシーケンス表示設定
	表示中のモニター画面のアラーム時、ポップアップ表示設定
	マップ表示位置を設定
	マップを重ねて表示
	マップを並べて表示

(* Control Center Monitorの権限設定で使用権限がある場合のみ表示)

2-1-2 サイトツリー

アイコン	説明
	登録済みユニットのフォルダー
	DVR管理用フォルダー
	DVR
	すべてのカメラチャンネルをモニター中のDVR
	アラーム検知のDVR
	ログインに失敗したDVR
	接続に失敗したDVR
	カメラ
	カメラ(表示中)
	ネットワーク上の未登録のDVRを表示
	ビューセット
	マップ
	マップ (表示中)

2-1-3 メインビュー

モニター画面、またはマップ画面を表示します。

2-1-4 イベントビュー

アイコン	説明
	表示中のカメラ
	モーション検知中のカメラ
	非表示のカメラ
	接続していないDVRのカメラ
	センサー
	検知中のセンサー

-  接続していないDVRのセンサー
 -  リレー
 -  動作中のリレー
 -  接続していないDVRのリレー
 -  マイク
 -  利用中のマイク
 -  接続していないDVRのマイク
 -  接続中のDVR
 -  接続していないDVR
-

2-2 ライブ表示

2-2-1 ライブ表示画面



画面上部には、チャンネル、ユニット情報と、簡易録画、PTZ、オーディオ制御のボタンが表示されます。画面下部には、時間とイベント情報、フレーム数が表示されます。

2-2-2 画面分割

ボタン	説明
	ライブイメージ保存(re4形式)
	PTZ
	オーディオ on/off
	表示しているモニター画面を閉じる



ツールバー上の上記の各ボタンをクリックすると画面分割を変更できます。
(1/4/9/13/16/25/36/49/64)

2-2-3 全画面表示

ツールバー上の ボタンをクリックすると、メインビューを全画面表示します。
キーボードの【ESC】キーを押下すると、元の画面に戻ります。

2-2-4 画面移動

移動元の画面上でマウスの左ボタンをクリックしたまま画面を移動させ、移動先で左ボタンを離すと画面の入れ替えができます。

2-2-5 ユニット情報表示

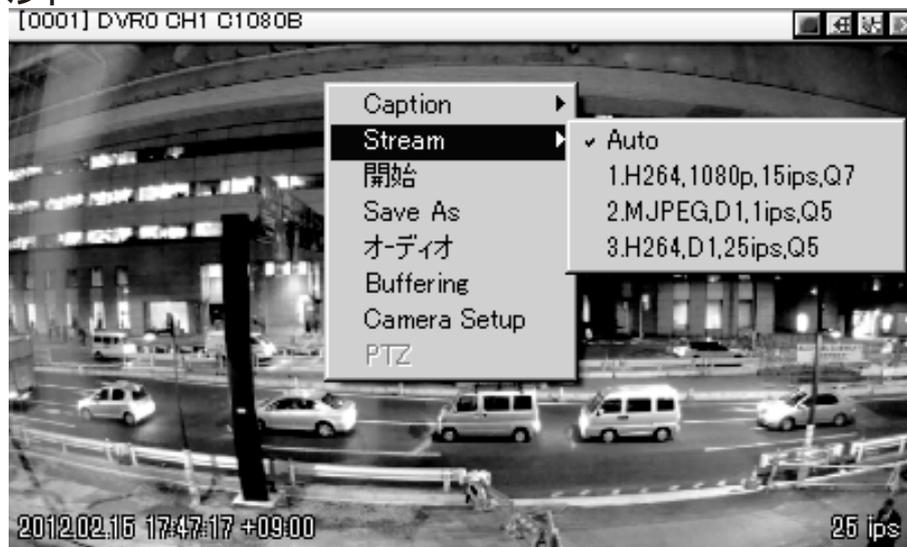
表示画面上で右クリックをし、[Caption]を選択すると画面上部に表示されているユニット情報を変更できます。



2-2-6 表示解像度

表示画面上で右クリックをし、[Stream]を選択すると解像度等を変更できます。
Auto を選択すると、解像度はモニターのサイズと PC パフォーマンスに基づいて自動で設定されます。

2-2-7 イベント



モーションが発生すると、表示画面上に  アイコンが表示されます。
センサー反応があると、表示画面上に  アイコンとセンサー番号が表示されます。

2-2-8 イメージの保存

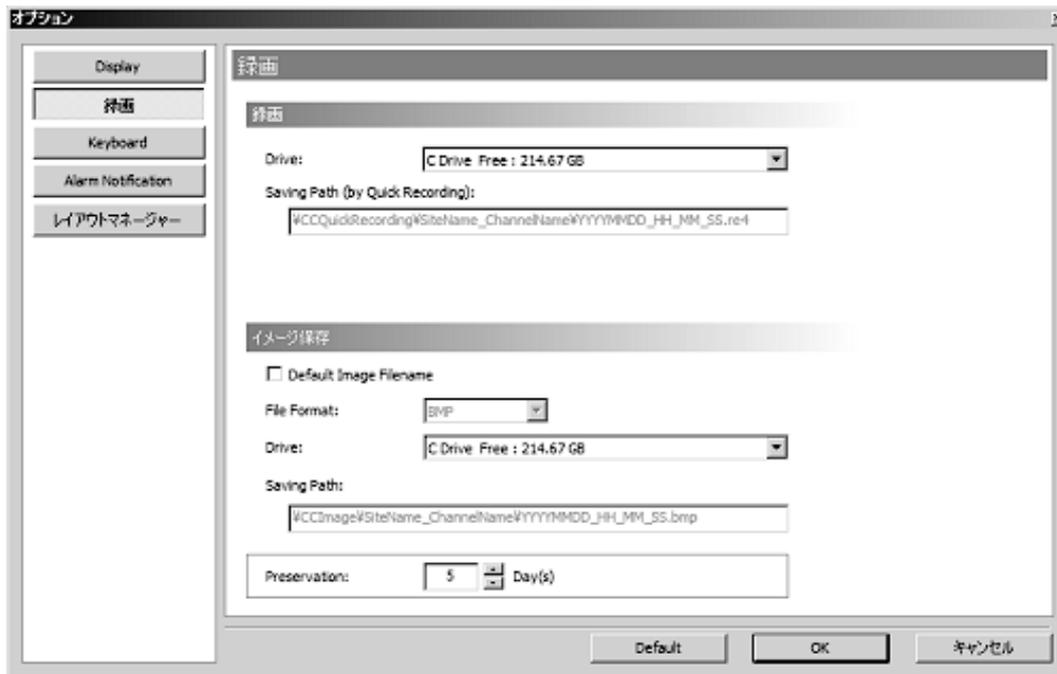
動画保存

表示画面上で右クリックをし、[開始]をクリックするか、表示画面上の  ボタンをクリックすると、表示している画面の映像がPC上に保存されます。

録画時間は最大で10分です。



録画データは、[ツール(T)]-[オプション]-[録画]に設定されているフォルダーに保存されます。



2-2-9 音声制御

スクリーン画面上  のボタンまたは、右クリックメニュー内の [オーディオ] をクリックすると音声を聞くことができます。(音声の入力がある場合)



2-2-10 すべてのモニター画面を閉じる

ツールバー上の  ボタンをクリックすると、表示中のすべてのライブ表示画面を閉じます。

3 Control Center Playback

Control Center Playback は、録画再生を行うソフトです。
Control Center Monitor から [ツール (T)]-[再生] を選択するか、Windows のスタートメニューから、Control Center Playback をクリックすると起動します。

3-1 画面



3-1-1 ツールバー

ボタン	説明
	ユニットまたは、ファイルを開く
	ユニットとの接続を切断
	前の分割画面を表示
	次の分割画面を表示
	スクリーン調整ダイアログを表示 (静止時のみ有効)
	静止画をファイルに保存 (静止時のみ有効)
	静止画を印刷(静止時のみ有効)
	メインビューを全画面表示
	画面分割(1/4/9/13/16)
	テキスト検索(静止時のみ有効)
	モーション検索 (静止時のみ有効)
	プレビュー検索 (静止時のみ有効)
	ソフトのバージョンを表示

3-1-2 メインビュー

モニター画面を表示します

.....

3-1-3 再生制御ビュー

録画データの状況を表示します。

3-1-4 ログビュー

イベント発生ログを表示します。選択したイベントをクリックすると、メインビュー画面がログイベント発生時の画面に移動します。

3-1-5 HDD状況ビュー

HDDの容量と空き容量を表示します。また、HDD上に記録されているデータの先頭の日時也表示します。

3-1-6 チャンネルビュー

ここで選択したチャンネルをメインビューに表示します。

3-1-7 カレンダービュー

ここで選択した日付のデータを呼び出すことができます。データが記録されている日は、日付が黒で表示されます。



3-2 ユニット / バックアップファイルを開く

Control Center Playbackを利用する時は、ツールバーの [ファイル (F)]-[開く (O)] または、 ボタンをクリックして、Unit Explorer (右図)を開き、録画再生するユニットまたは、ファイルを選択します。

3-3 検索

3-3-1 イメージ情報インジケータ検索

イメージ情報インジケータは、記録データのイベント発生状況などを色によって表します。閲覧したいイメージをダブルクリックすると、その記録映像がメインビューに表示されます。なお、各色のイベントについては、以下の通りです。

色	情報
赤	センサー
黄	モーション
青	手動録画、スケジュール録画、連続録画
橙	プレアラーム、ポストアラーム
紫	テキスト

また、以下の操作をすることにより、インジケータの表示を切り替えられます。

- スクロールバー

画面下部のスクロールバーを動かすことにより表示時間を変更できます。

- 表示時間間隔変更

画面上部のボタンをクリックすると表示時間間隔を変更できます。(右図)



3-3-2 ログ検索



ログビューから表示したいイベントを選択すると、選択した映像が表示されます。
 カテゴリを変更することにより、イベントの種類を絞り込むことができます。

3-3-3 カレンダー検索



カレンダービューより、録画再生したい日時を入力後、ボタンをクリックすると選択した映像が表示されます。

3-4 録画再生

3-4-1 録画再生ボタン

ボタン	説明
	1フレーム前を表示
	逆再生
	停止
	再生
	1フレーム後を表示
	イベントイメージのみを表示（選択時は ボタンに変わる）
	再生速度を指定します。(0.5x、1x、2x、4x、8x、16x、24x、32x、64x、All) Allは、すべてのフレームを高速で再生
	表示をユニットのすべてのチャンネルを表示か、選択したチャンネルだけを表示かを選択

3-4-2 音声再生

音声再生は、1画面表示で再生速度が1xの時だけ可能です。

3-5 静止画

3-5-1 静止画の調整



映像の停止状態で調整したいチャンネルを選択し、ツールバーの[画像]-[画像調整]または、ボタンをクリックすると、選択した画面がスクリーン調整画面に表示されます。

各項目のスライダーを動かすと静止画を調整することができ、各ボタンをクリックすると初期値に戻ります。

ボタン	説明
	ブライトネス
	コントラスト
	(未使用)

また、スクリーン調整画面の画像上でズームしたいところをマウスで選択するとデジタルズームすることができます。



3-5-2 静止画保存

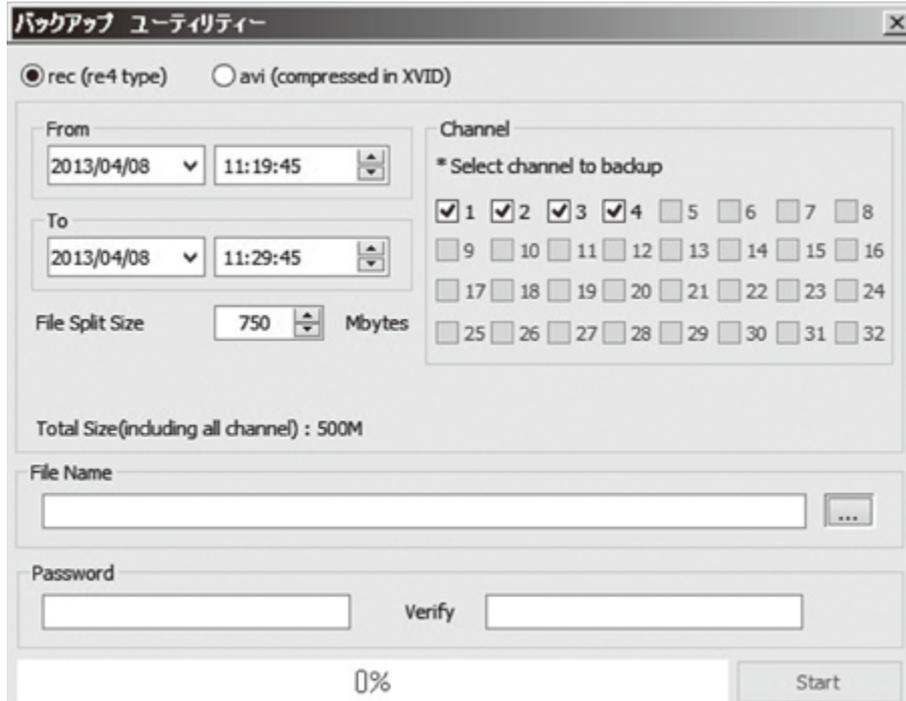
映像の停止状態で保存したいチャンネルを選択しツールバーの[画像]-[保存]または、 ボタンをクリックすると、画面をファイル (*.bmp,* .jpg) として保存できます。キャプション画面で、コメント等を入力すると、入力内容が画像に記録されて保存されます。

3-5-3 静止画の印刷

映像の停止状態で保存したいチャンネルを選択しツールバーの[画像]-[印刷]または、 ボタンをクリックすると、画面を印刷できます。キャプション画面で、コメントを入力すると、入力内容と共に印刷されます。

.....

3-6 バックアップ



HDD 状況ビューの  ボタンをクリックすると、バックアップユーティリティが起動し、映像を PC 上にバックアップすることができます。

名称	説明
rec/avi	保存するファイル形式を選択
From-To	保存開始日時と終了日時を選択
Split file size	保存するファイルを指定したサイズで分割
Copy Miniplayer	rec形式で保存したファイルを開覧できるソフトをコピー
チャンネル	保存するチャンネルを選択
ファイル名	保存するファイル名を指定
File Protection	保存するファイルにパスワードをかける場合に入力 Re-typeには、パスワードと同じものを入力 (入力確認のため)
開始	バックアップ開始

4 Control Center Configuration Tool

Control Center Configuration Toolは、DVRの設定を行うソフトです。
Control Center Monitorから[ツール(T)]-[構成]を選択するか、Windowsのスタートメニューから、Control Center Configuration Toolをクリックすると起動します。

4-1 画面



4-1-1 サイトツリー

登録済みのDVRのリストが表示されます。

4-1-2 メニュー

システムの設定メニューが表示されます。

4-1-3 設定ページ

システム各設定項目が表示されます。設定変更後に、「適用」ボタンをクリックすると、設定が適用されます。

MEMO

第 4 章 WNS (Webgate Naming Service) 設定手順



内容

この章では、Webgate 社の DDNS サービスである、WNS の設定登録の手順を記載しています。DVR で DDNS を利用される場合、この手順を参考に設定してください。

WNS アカウント登録 (WNS アカウントが無い場合のみ)

1. PC のブラウザソフトで WNS のサイト (<http://mycam.to>) へアクセスし、**Create an account** ボタンをクリックします。
2. 各項目を入力して、Register ボタンをクリックします。

3. 登録内容に問題がなければ、以下の画面が表示されるため、OK ボタンをクリックします。



サブドメイン登録

サブドメイン登録は、DVR がインターネットに接続している状況で行ってください。
(DVR がインターネットに接続していない状況では、登録できません。)

- 1.WNS のサイト (<http://mycam.to>) にアクセスし、WNS アカウント情報 (ID,Password) を入力後、**Sign in** ボタンをクリックしてください。
- 2.Add ボタンをクリックします。

3. 各項目を入力し、Add ボタンをクリックして、登録を完了です。

サブドメイン登録状況の確認

WNS にサインインすると、すでに登録してあるドメインが表示されます。



各項目の説明

Edit (登録ドメインの編集削除)

Modify (青字) : 内容を修正するときはこのボタンを使用します。

Delete (赤字) : ドメインの削除をするときにこのボタンを使用します。

Status (登録ドメインの状況)

: ドメインの更新が 30 分以内あった場合

Less than 30 minutes : ドメインの更新が 30 分以上 1 日以内にあった場合

Less than 1 day : ドメインの更新が 1 日以上ない場合 (製品動作の確認が必要)

More than 1 day



資料

カメラプロトコル搭載モデル

モデル	メーカー
Keyboard KBD300A, WGI SPD1800/2600	Webgate
WKC-100 Keyboard	Webgate
PELCO (P) , PELCO (D)	Pelco
BOSCH AutoDome, TC8560X-4	Bosch
Sony EVI-D3x	Sony
VT VPT-4x	VT
AD SpeedDome	AD
Sungjin SJ3728R1	Sungjin
Samsung SCC641	Samsung Electric
Panasonic WV-CS850	Panasonic
SDZ160/330, Samsung SPD, KeyboardSCC100A Samsung SRX-100B	Samsung Techwin
LG GAC-PT2	LG
MELIT-Lilin FastDome	Merit
ELMO PTC200C	ELMO
Canon VC-C4	Canon
HTC-230S	Dongyang Unitech
RVision	RVT
Elbex	Elbex
Honeywell 755/655, HRX-2000, HTX-3000, ScanDome2	Honeywell
VIDO	VIDO
VICON	Vicon
Hunt	Hunt
ORX-1000	Sysmenia
Fine CRR-1600	LiveEye
Tokina	Tokina
Kodicom KRE	Kodicom
Nuvico	Nuvico

HDC400M 録画時間一覧表 (標準2TB搭載時の録画時間)

各カメラあたり	4chx1コマ	4chx2コマ	4chx3コマ	4chx4コマ	4chx5コマ	4chx6コマ	4chx7コマ
解像度	4コマ/秒	8コマ/秒	12コマ/秒	16コマ/秒	20コマ/秒	24コマ/秒	28コマ/秒
720p	80日21時間	76日21時間	73日7時間	70日2時間	67日2時間	64日7時間	61日19時間
720p	60日16時間	57日16時間	55日	52日12時間	50日7時間	48日4時間	46日7時間
720p	48日12時間	46日2時間	44日	42日	40日4時間	38日14時間	37日2時間
720p	40日12時間	38日12時間	36日16時間	35日	33日12時間	32日2時間	30日21時間
720p	34日16時間	33日16時間	31日9時間	30日	28日16時間	27日14時間	26日12時間

HDC400M 録画時間一覧表 (標準2TB搭載時の録画時間)

各カメラあたり	4chx1コマ	4chx2コマ	4chx3コマ	4chx4コマ	4chx5コマ	4chx6コマ	4chx7コマ
解像度	4コマ/秒	8コマ/秒	12コマ/秒	16コマ/秒	20コマ/秒	24コマ/秒	28コマ/秒
1080p	60日14時間	57日16時間	55日	52日12時間	50日7時間	48日4時間	46日12時間
1080p	46日14時間	44日9時間	42日7時間	40日9時間	38日16時間	37日2時間	35日14時間
1080p	37日21時間	36日2時間	34日9時間	32日19時間	31日9時間	30日2時間	28日21時間
1080p	31日21時間	30日9時間	28日21時間	27日14時間	26日12時間	25日9時間	24日9時間
1080p	27日14時間	26日4時間	25日	23日21時間	22日21時間	21日21時間	21日2時間
1080p	24日7時間	23日2時間	22日	21日	20日2時間	19日7時間	18日12時間
1080p	21日14時間	20日14時間	19日14時間	18日19時間	18日	17日4時間	16日12時間

.....

メモ

ネットワーク設定

項目	設定値
グローバルアドレス (固定IPアドレス)	■ ■ ■
ローカルIPアドレス	■ ■ ■
WRS (DDNS) アドレス	.mycam.to
ID/パスワード	ID パスワード
サブネットマスク	■ ■ ■
ゲートウェイ	■ ■ ■
ネットワークパスワード	
備考	

ルーター設定 ルーター ID (初期値) 例 : admin,administrator,root

項目	設定値
ID	
パスワード	
グローバルアドレス (固定IPアドレス)	■ ■ ■
ローカルIPアドレス	■ ■ ■
サブネットマスク	■ ■ ■
ゲートウェイ	■ ■ ■
備考	

WRS 設定 (<http://mycam.to>)

ユーザー ID	
パスワード	

.....

販売代理店